

# Epson Deployment Tool

## ユーザーズマニュアル

---

### 概要

特長および動作環境について説明します。

### インストール

Epson Deployment Toolのインストール、  
およびアンインストールについて説明します。

### 使用方法

Epson Deployment Toolの使用方法について説明します。

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複製、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

## 商標について

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft<sup>®</sup>、Excel<sup>®</sup>、Visual C++<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>、およびWindows Vista<sup>®</sup>は、米国Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Wi-Fi<sup>®</sup>、WPA<sup>™</sup>、WPA2<sup>™</sup> は Wi-Fi Alliance<sup>®</sup> の登録商標または商標です。

Bluetooth<sup>®</sup> のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。



その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

© Seiko Epson Corporation 2013-2017. All rights reserved.

# 安全のために

## 記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

## 使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

## 本書について

### 本書の目的

本書は、Epson Deployment Tool の使用に必要な情報を提供することを、その目的としています。

### 本書の構成

本書は次のように構成されています。

- 第 1 章 [概要](#)
- 第 2 章 [インストール](#)
- 第 3 章 [使用方法](#)

# もくじ

■ 安全のために.....	3	■ ドライバー設定変更パッケージの作成	70
記号の意味.....	3	ドライバー設定変更パッケージの作成.....	70
■ 使用制限.....	3	ドライバー設定変更パッケージの実行.....	76
■ 本書について.....	3	CSV ファイルの活用.....	77
本書の目的.....	3	■ Acknowledgements.....	80
本書の構成.....	3		
■ もくじ.....	4		

---

## 概要 ..... 5

■ 特長.....	5
プリンターのネットワーク設定とプリンターの設 定.....	6
TM-C3500/TM-C3400 の用紙設定.....	8
プリンタードライバーをインストールして設定す るパッケージの作成.....	9
■ 管理者コンピューターの動作環境.....	12
OS.....	12
ソフトウェア.....	12
サポート機種.....	14
インターフェイス.....	14
ダウンロード.....	14
■ 制限事項.....	15

---

## インストール ..... 17

■ インストール.....	17
■ アンインストール.....	19

---

## 使用方法..... 20

■ プリンターの設定.....	20
設定リストの作成.....	21
設定リストを使ってプリンターを設定.....	42
CSV ファイルの活用.....	45
■ ドライバーインストールパッケージの作成	47
TM-C3500/TM-C3400/GP-C831.....	47
Advanced Printer Driver Ver.4.....	63
Advanced Printer Driver Ver.5.....	67
ドライバーインストールパッケージの実行....	69

# 概要

本章では、Epson Deployment Tool の特長および動作環境について説明しています。

## 特長

Epson Deployment Tool は、プリンターの設定、プリンタードライバのセットアップと設定変更を支援するソフトウェアです。システムのプリンターやクライアントコンピューターのキッティング作業を行う管理者の作業時間を短縮し、作業の効率化を図ることができます。

以下の特長があります。

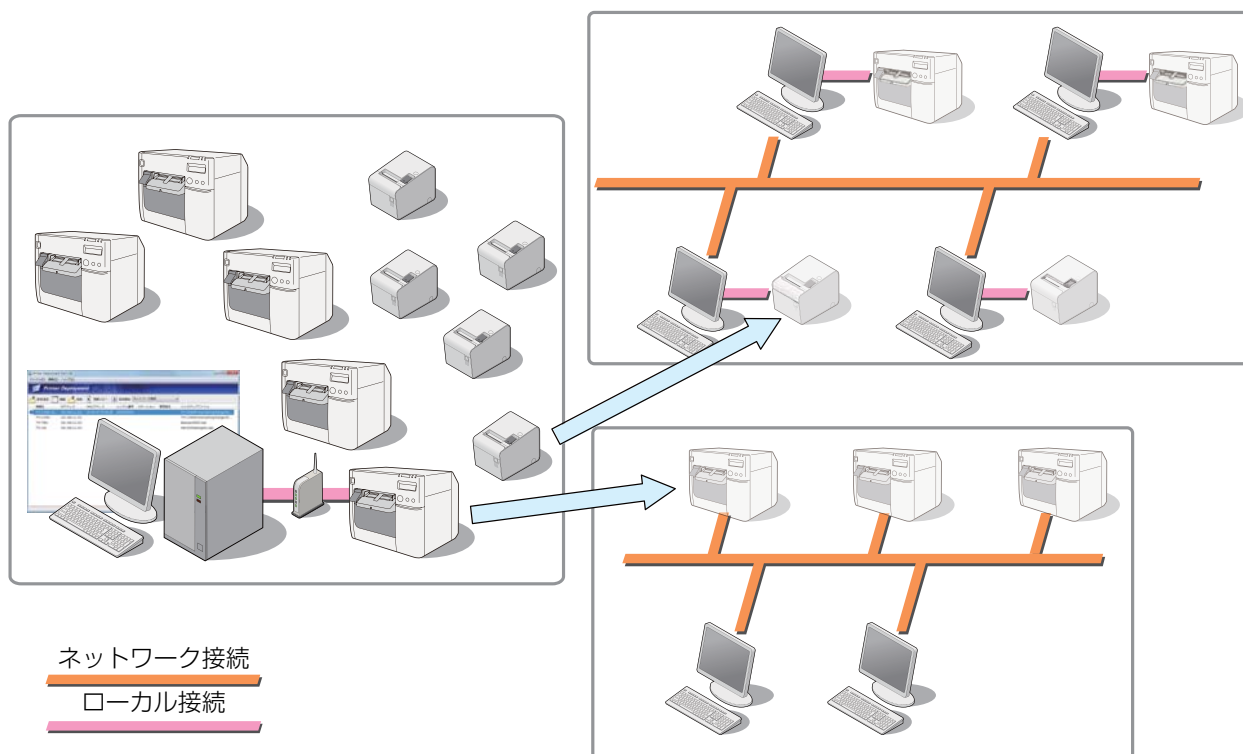
- プリンターのネットワーク設定とプリンターの設定を一度に行うことができます。(6 ページ)
- インク充てん前に、TM-C3500/TM-C3400 の用紙設定ができます。(8 ページ)
- 1 つのパッケージで、複数のクライアントコンピューターのプリンタードライバをインストールして設定するパッケージを作成できます。(9 ページ)

## プリンターのネットワーク設定とプリンターの設定

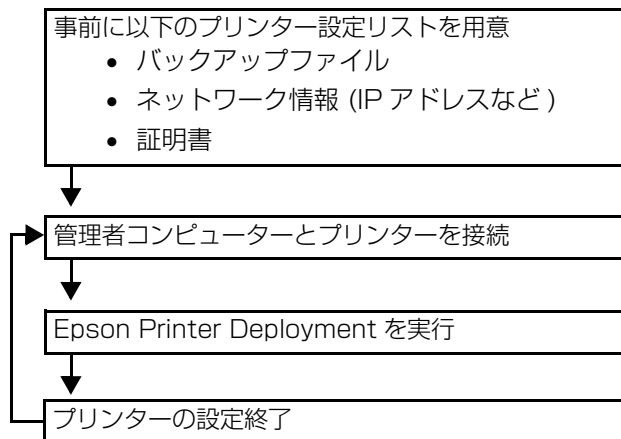
プリンターのネットワーク設定、証明書のインポート、およびプリンターの設定を一度に設定できます。従来は、プリンター 1 台ごとに複数のソフトウェアから手動で設定していましたが、本ツールではプリンターの設定をあらかじめ登録することで、自動でプリンターに設定できます。また、複数のプリンターをあらかじめ設定することもできます。

管理者の事務所などでプリンターの設定を完了させることができるので、設置現場での作業時間を短縮して作業の効率化を図ることができます。

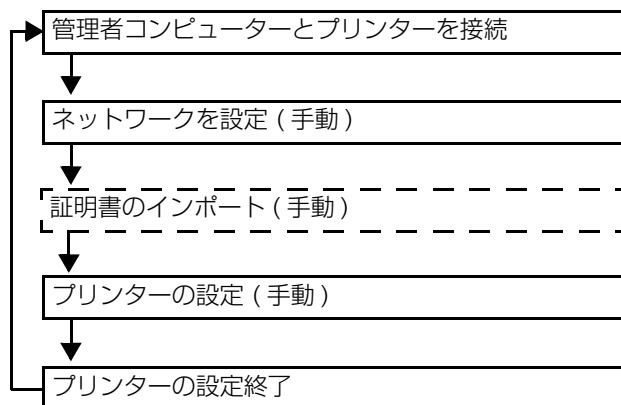
稼働中のプリンターの設定変更や証明書の更新は、Epson Monitoring Tool を使用してください。



## [Epson Deployment Tool を使った作業]



## [従来の作業]



## TM-C3500/TM-C3400 の用紙設定

TM-C3500/TM-C3400 の場合、インク充填前に以下の設定ができます。

- 給紙装置（ロール紙 / ファンフォールド紙）の設定
- 用紙位置検出の設定

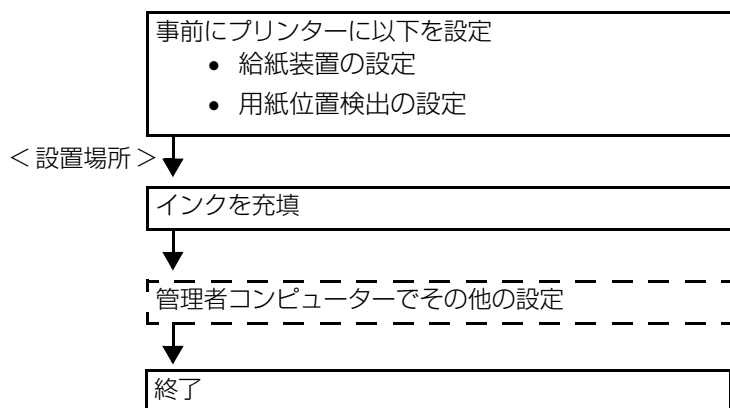


TM-C3400 の場合、ファームウェアバージョン WSN10000 以降、設定できます。

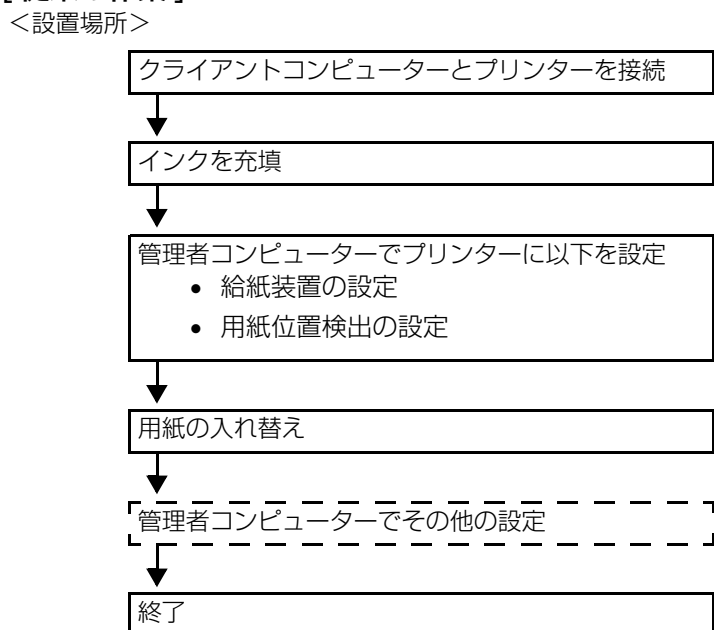
従来は、付属のロール紙を装着し、インク充填してからでないと、プリンターの用紙設定ができませんでした。プリンターの設置前に、本ツールを使用して用紙設定することで、プリンターの設置場所での作業が減り、設置時間の短縮と作業の効率化を図ることができます。

また、インク充填後にプリンターを移動させることによるトラブルを回避できます。

### [Epson Deployment Tool を使った作業]



### [従来の作業]

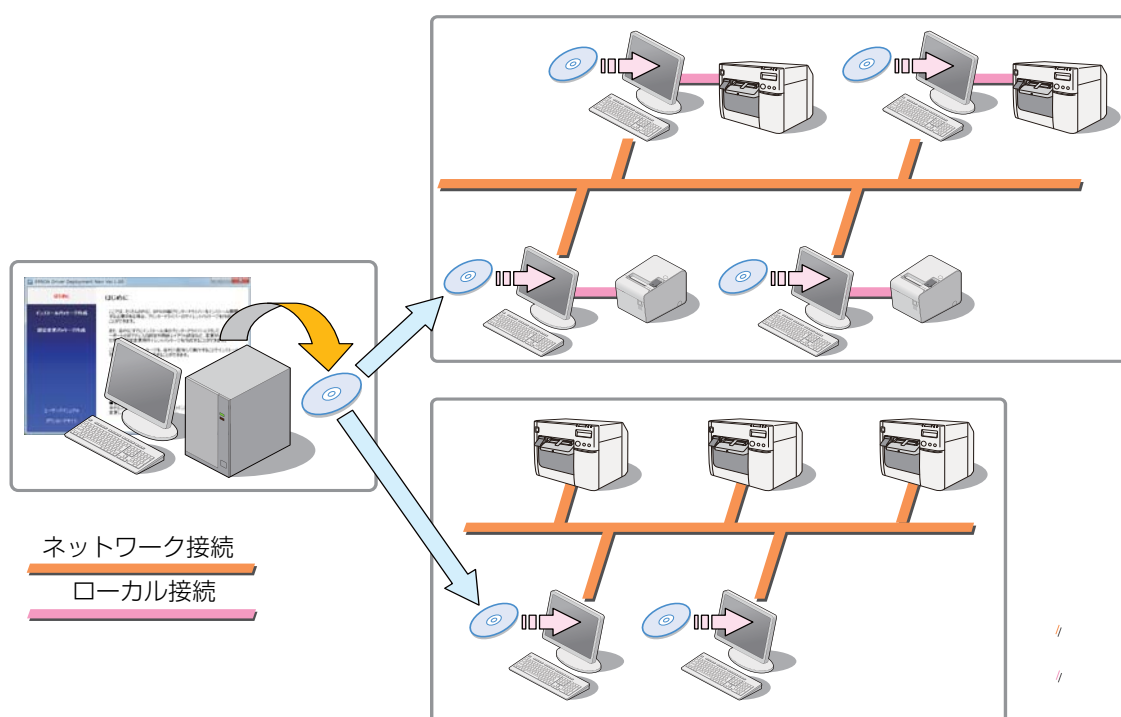




## プリンタードライバーをインストールして設定するパッケージの作成

従来は、プリンタードライバーごとにインストール / 設定するパッケージを作成していました。本ツールでは、1つのパッケージで、複数のクライアントコンピューターのプリンタードライバーをインストールして設定するパッケージを作成できます。

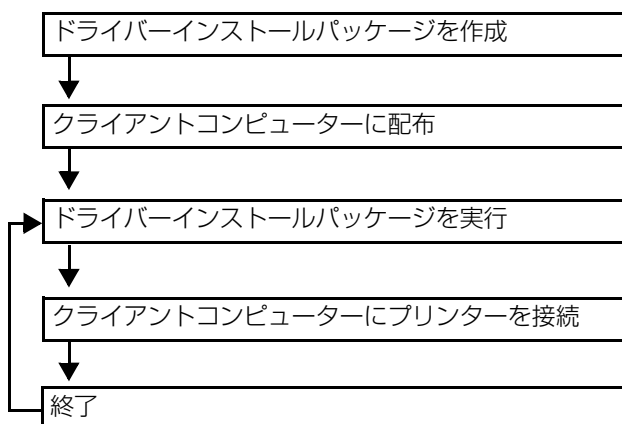
- **プリンタードライバーの初期設定 (p.10)**  
複数のクライアントコンピューターを初期設定する場合、プリンタードライバーのインストールと、プリンターの登録 / 設定を行うドライバーインストールパッケージを作成します。
- **プリンタードライバーの設定変更 (p.11)**  
クライアントコンピューターごとにプリンタードライバーの設定が異なったり、1台のクライアントコンピューターに複数のプリンターキューを設定したりする場合にも対応できる、ドライバー設定変更パッケージを作成します。



本ツールは、本ツールで作成したパッケージファイルをクライアントコンピューターへ配布する機能はありません。

## プリンタードライバーの初期設定

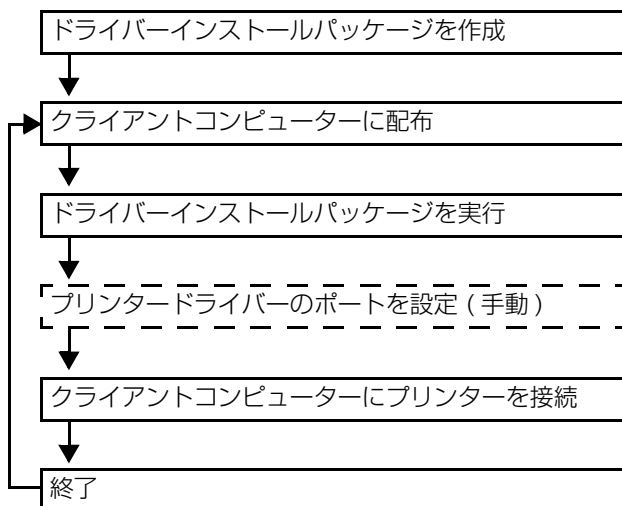
### [Epson Deployment Tool を使った作業]



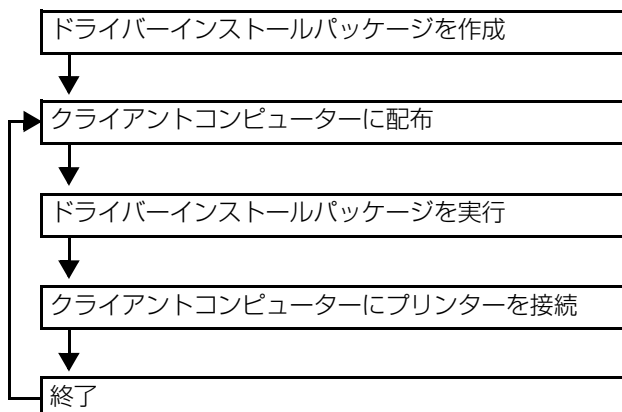
「<TM-C3500/TM-C3400>  
 ドライバー設定変更パッケージを作成  
 ・ ドライバー設定ファイル  
 ・ ネットワーク情報

### [従来の作業]

<TM-C3500/TM-C3400>

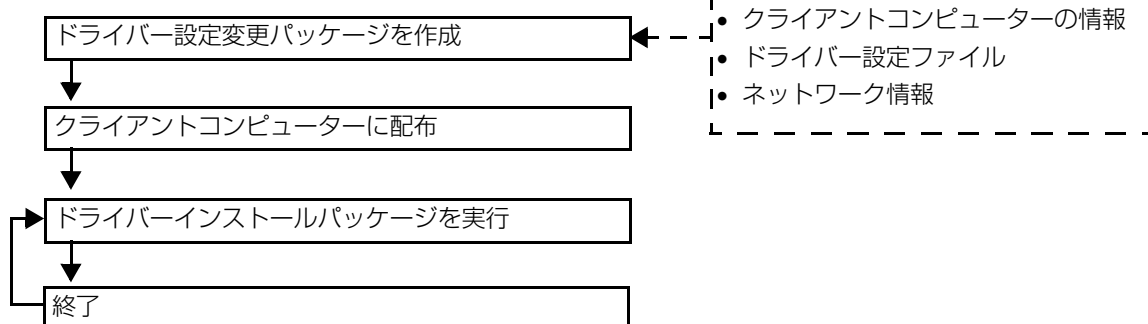


<Advanced Printer Driver>



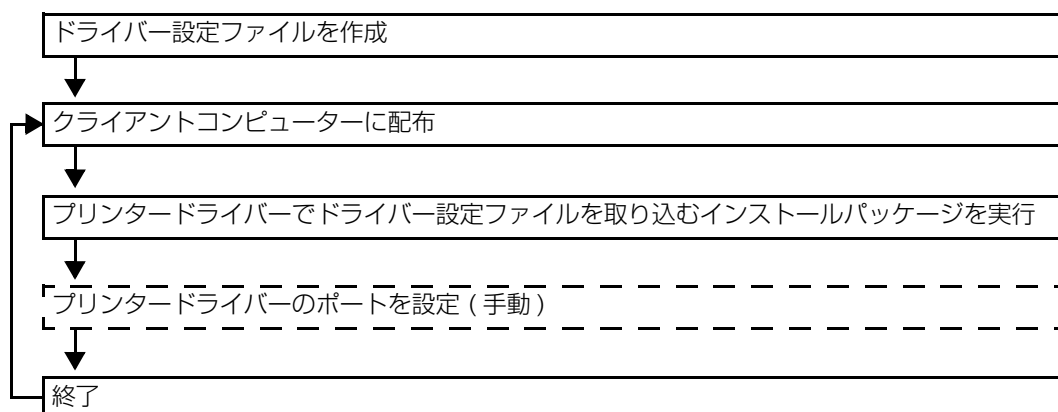
## プリンタードライバーの設定変更

### [Epson Deployment Tool を使った作業]

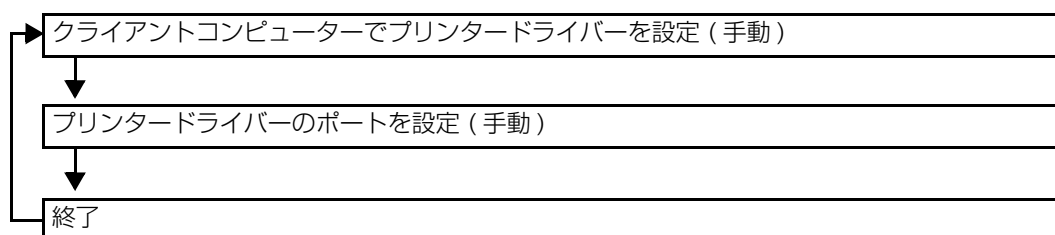


### [従来の作業]

<TM-C3500/TM-C3400>



<Advanced Printer Driver>



# 管理者コンピューターの動作環境

## OS

- Microsoft Windows 10 (32 bit / 64 bit)
- Microsoft Windows 8.1 (32 bit / 64 bit)
- Microsoft Windows 8 (32 bit / 64 bit)
- Microsoft Windows 7 SP1 以降 (32 bit / 64 bit)
- Microsoft Windows Vista SP2 以降 (32 bit / 64 bit)

## ソフトウェア

構築するシステム環境によって、必要なソフトウェアが異なります。

## プリンターの設定

□ 機種専用ユーティリティ (対応機種のみ)

機種専用ユーティリティ	ユーティリティバージョン
BA-T500II	Ver.1.30 以降
TM-H6000IV	Ver.1.30 以降
TM-m10	-
TM-m30	-
TM-P20	-
TM-P60II	Ver.1.20 以降
TM-P80	-
TM-T20	Ver.1.50 以降
TM-T20II	Ver.1.10 以降
TM-T70II	Ver.1.10 以降
TM-T88V	Ver.1.50 以降
TM-T88VI	Ver.1.10 以降
TM-T90II	Ver.1.10 以降

## プリンタードライバーの設定

### □ プリンタードライバー

- Advanced Printer Driver Ver.4.09 以降
- Advanced Printer Driver Ver.5.00 以降
- GP-C831 Printer Driver Ver.2.1.0.0 以降
- TM-C3400 Printer Driver Ver.1.4 以降
- TM-C3500 Printer Driver Ver.1.0.0.5a 以降

### □ EpsonNet SetupManager

TM-C3500/TM-C3400/GP-C831 のドライバー設定に必要です。



- 上記のソフトウェアの詳細は、各種マニュアルを参照してください。
- UPOS ドライバーを使用している場合、Advanced Printer Driver は必要ありません。
- UPOS ドライバーの環境の場合、Epson Deployment Tool を使って、プリンターの設定はできますが、ドライバーは設定できません。

## サポート機種

BA-T500II	GP-C831	TM-C3400	TM-C3500
TM-H6000IV	TM-L90	TM-m10	TM-m30
TM-P20	TM-P60II	TM-P80	TM-T20
TM-T20II	TM-T70II	TM-T88V	TM-T88VI
TM-T90II			

無線 LAN のセキュリティーを WPA-Enterprise に設定でき、証明書をインポートできる機種とファームウェアバージョンは以下のとおりです。

機種	Wi-Fi <sup>®</sup> ファームウェアバージョン
UB-R04 を搭載した TM プリンター	Ver.1.05 以降 (UB-R04 のファームウェア)
TM-P20	-
TM-P60II	Ver.1.04 以降
TM-P80	-

無線 LAN のセキュリティーを WPA2-Enterprise に設定でき、証明書をインポートできる機種とファームウェアバージョンは以下のとおりです。

機種	Wi-Fi ファームウェアバージョン
UB-E04およびOT-WL01を搭載したTMプリンター	Ver.1.00 以降 (UB-E04 のファームウェア)
TM-m10	-
TM-m30	-
TM-T88VI	-

## インターフェイス

プリンターにより使用できるインターフェイスが異なります。詳細は、各プリンターのマニュアルを参照してください。無線 LAN では設定できません。

- 有線 LAN \*
- USB
- シリアル
- Bluetooth<sup>®</sup>
- パラレル

\* : プリンターを DHCP に設定したり DHCP から他の設定にしたりする場合、DHCP サーバーを設置しないと使用できません。

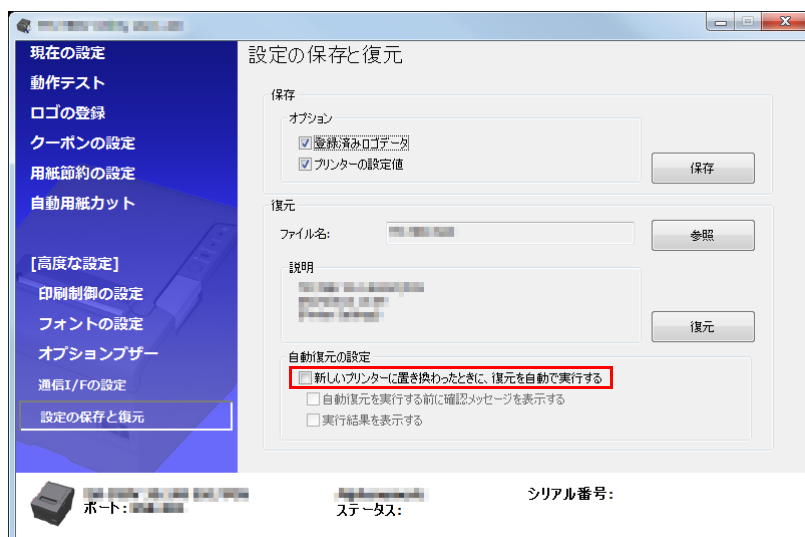
## ダウンロード

提供物は、下記ホームページからダウンロードできます。

<http://www.epson.jp/support/sd/>

## 制限事項

- Epson Printer Deployment の起動中は、プリンターへの印刷ができません。
- Epson Printer Deployment は、以下のソフトウェアの設定を行い、ソフトウェアを終了してから起動してください。
  - 機種専用ユーティリティ
    - プリンターの [ 新しいプリンターに自動復元する ] が有効になっている場合、無効にしてください。
    - 以下の手順で設定します。
    - 1. [ スタート ]-[ すべてのプログラム ]-[Epson]-[TM-xxxx Software]-[TM-xxxx Utility] を選択します。  
機種専用ユーティリティが起動します。
    - 2. [ 設定の保存と復元 ] をクリックします。
    - 3. [ 自動復元の設定 ]-[ 新しいプリンターに置き換わったときに、復元を自動で実行する ] のチェックを外します。

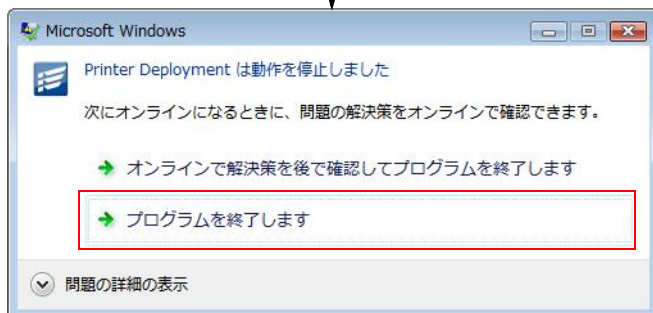
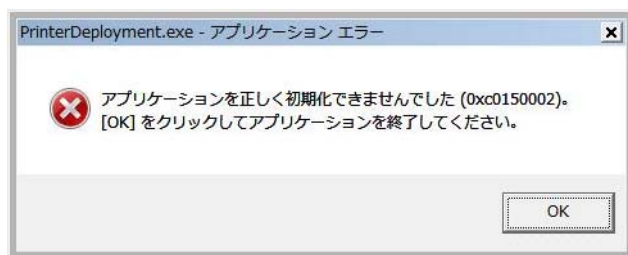


4. 機種専用ユーティリティを終了します。
- TM Automatic Restore Utility
    - タスクトレイに、TM Automatic Restore Utility のアイコンが表示されている場合、TM プリンターの自動復元機能を無効にしてください。



タスクトレイのTM Automatic Restore Utilityのアイコンを右クリックし、[EXIT]を選択して無効にします。

- Epson Printer Deployment の起動時、下記のメッセージが表示され起動できない場合があります。



その場合、以下を行ってください。

- Microsoft Visual C++2005 再配布可能パッケージをダウンロードしてインストール
  - Microsoft Visual C++2008 再配布可能パッケージをダウンロードしてインストール
  - Microsoft Visual C++2013 再配布可能パッケージをダウンロードしてインストール
  - Windows Update の実行
- Epson Printer DeploymentではUSB接続されたプリンターに、USBのベンダークラス/プリンタークラスが変更となるバックアップファイル（プリンター設定ファイル）を指定した場合、エラーになります。



# インストール

本章では、Epson Deployment Tool のインストール、およびアンインストールについて説明しています。



本章では、Windows 7 で説明しています。他の環境の場合、読み替えてください。

## インストール

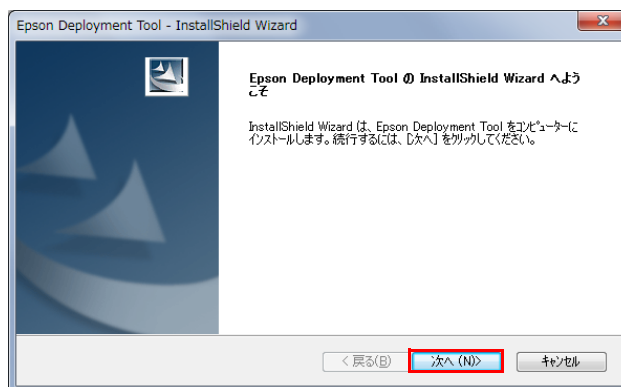
以下の手順で、Epson Deployment Tool をインストールしてください。

- 1 コンピューターで行っている、他のすべての作業を終了します。
- 2 EpsonDeploymentToolxxx.exe をダブルクリックします。

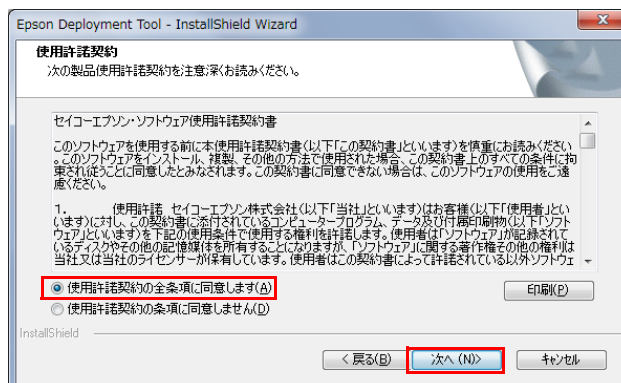


管理者権限でインストールしてください。

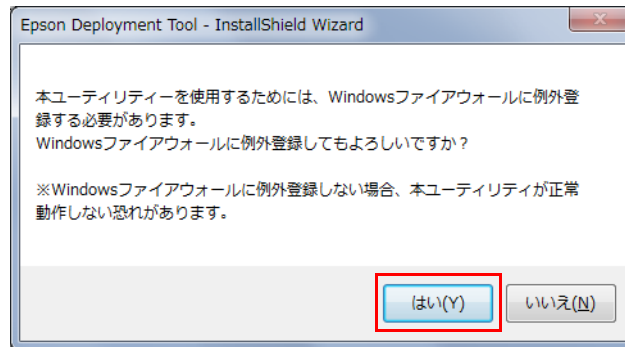
- 3 以下の画面が表示されます。[次へ] をクリックします。



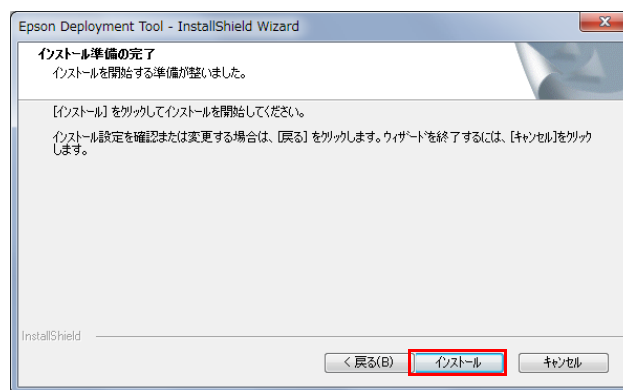
- 4 「使用許諾契約」画面が表示されます。  
[使用許諾契約の前条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。



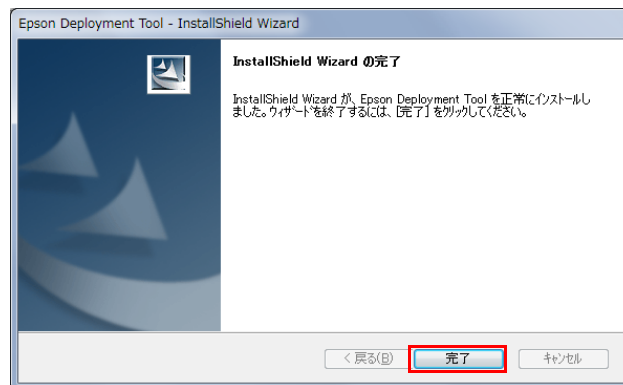
## 5 以下の画面が表示された場合、[ はい ] をクリックします。



## 6 「インストール準備の完了」画面が表示されます。[ インストール ] をクリックします。インストールが開始されます。



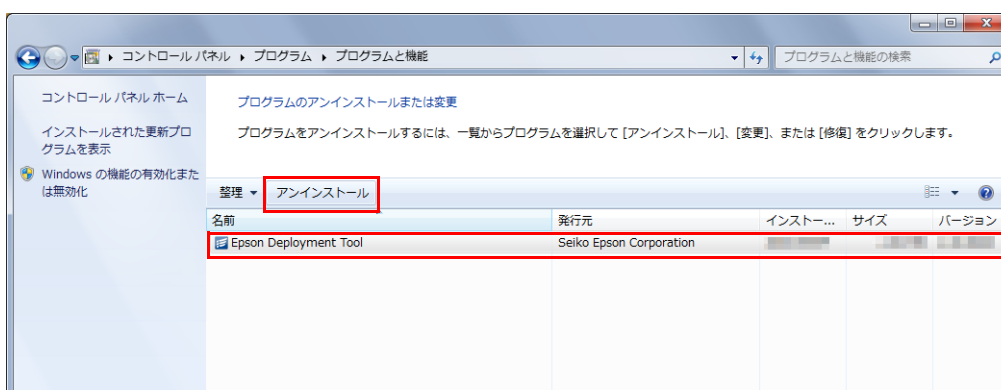
## 7 以下の画面が表示されます。[ 完了 ] をクリックします。



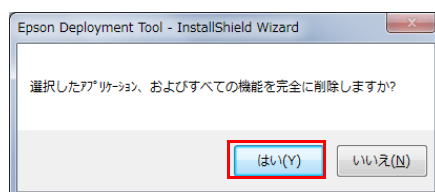
# アンインストール

以下の手順で、Epson Deployment Tool をアンインストールしてください。

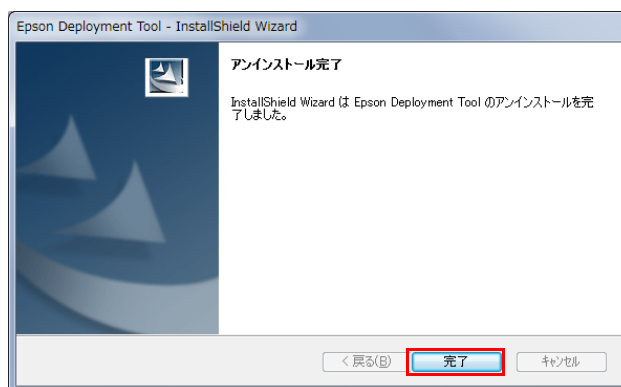
- 1 コンピューターで行っている、他のすべての作業を終了します。
- 2 [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール] を選択します。
- 3 「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。  
[Epson Deployment Tool] を選択し、[アンインストール] をクリックします。



- 4 アンインストール確認画面が表示されます。[はい] をクリックします。  
アンインストールが開始されます。



- 5 「アンインストール完了」画面が表示されます。[完了] をクリックします。



# 使用方法

本章では、Epson Deployment Tool の使用方法について説明します。

## プリンターの設定

事前にプリンターの設定リストを作成し、その後、複数のプリンターに設定します。  
プリンターによって、本ツールで可能な設定が異なります。

プリンター	本ツールで可能な設定
TM-C3500	インク充填前の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>• IP アドレスを含むネットワーク設定</li> <li>• 用紙位置検出設定 / 給紙装置設定</li> </ul> その他の設定は、インク充てん後に以下の方法で行えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Printer Setting</li> <li>• Epson Monitoring Tool</li> <li>• 管理者コンピューターのPrinter Settingからバックアップファイルを出力し、本ツールで設定</li> </ul>
TM-C3400 (ファームウェアバージョン:WSN10000 以降)	インク充填前の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>• IP アドレスを含むネットワーク設定</li> <li>• 用紙位置検出設定</li> </ul> その他の設定は、インク充てん後に以下の方法で行えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Printer Setting</li> <li>• Epson Monitoring Tool</li> </ul>
TM-C3400 (ファームウェアバージョン:WSN02000 以前)	インク充てん前は設定できません。 インク充てん後に以下の方法で行えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Printer Setting</li> <li>• Epson Monitoring Tool</li> </ul>
Advanced Printer Driver 対応プリンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IP アドレスを含むネットワーク設定</li> <li>• 機種専用ユーティリティの設定</li> </ul>
TM-L90	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IP アドレスを含むネットワーク設定</li> <li>• Memory Switch Setting の設定</li> </ul>
GP-C831	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IP アドレスを含むネットワーク設定</li> <li>• Printer Setting</li> </ul>

## 設定リストの作成

本ツールを使って、事前に設定リストを作成し、プリンターの設定の準備をします。



- 事前にネットワーク情報や、プリンター設定のバックアップファイルの情報を、CSV形式のリストに作成してインポートできます。詳細は、[CSVファイルの活用 \(45 ページ\)](#) を参照してください。
- GP-C831の場合、各機種種のPrinterSettingの[ファイル]-[保存]から.cfgファイルを作成し、指定します。

プリンターの接続方法と設定内容によって、設定方法が異なります。

- ネットワーク接続で有線 LAN/ プリンター設定 ([21 ページ](#))
- ローカル接続でプリンター設定 ([27 ページ](#))
- ローカル接続で Wi-Fi/ プリンター設定 ([32 ページ](#))

## ネットワーク接続で有線 LAN/ プリンター設定

以下の手順で、設定リストを作成します。

### 1 [ スタート ]-[ すべてのプログラム ]-[Epson]-[Deployment Tool]-[Epson Printer Deployment] を選択します。

Epson Printer Deployment が起動します。



- 管理者権限で実行してください。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、[はい] をクリックしてください。

### 2 設定するプリンターの接続方法から、[ネットワーク接続で有線LAN/プリンター設定] を選択します。



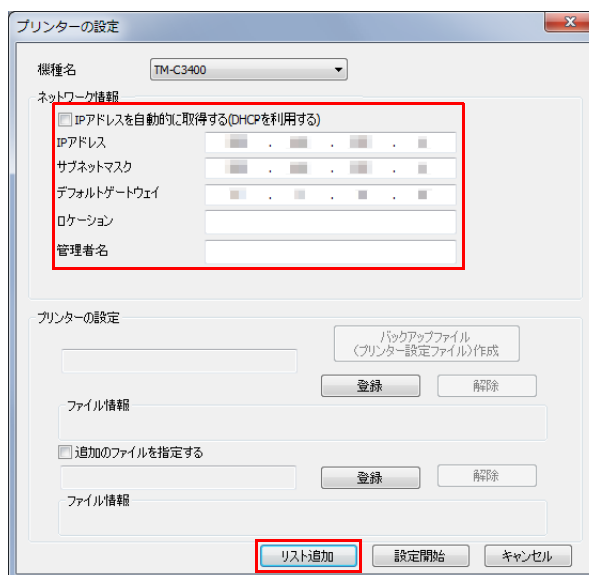
### 3 「設定追加」をクリックします。



事前に設定リストを CSV 形式のファイルで作成した場合、メニューバーの [ファイル]-[CSV ファイル入力] からインポートしてください。

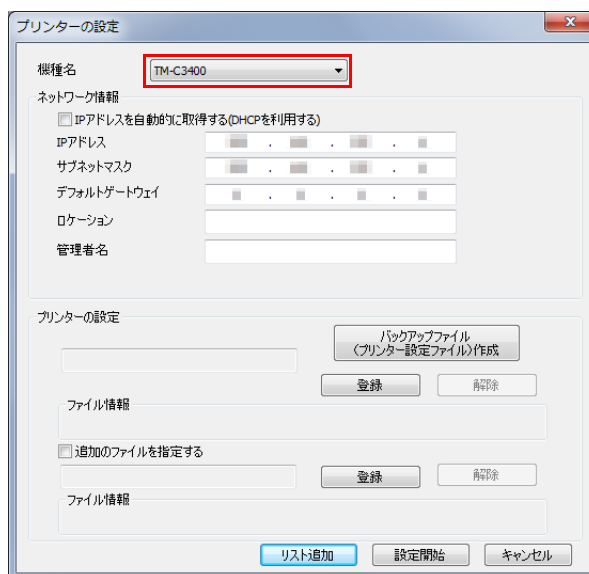
### 4 「プリンターの設定」画面が表示されます。 ネットワークの設定をします。

プリンターの設定を行わない場合は、[リスト追加] をクリックして、手順 9 へ進んでください。

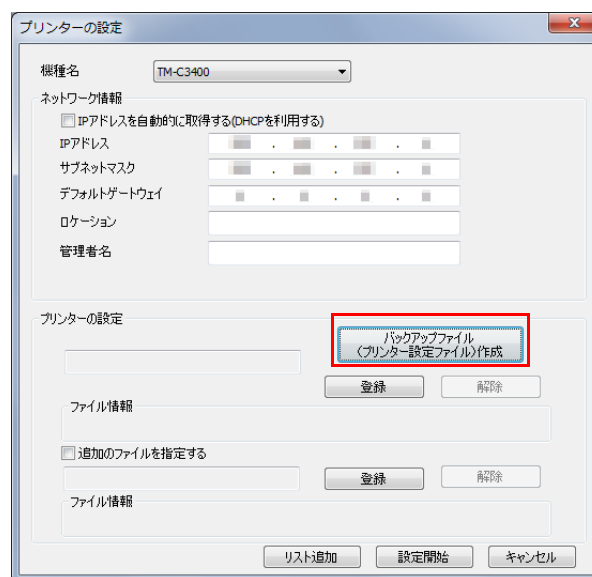


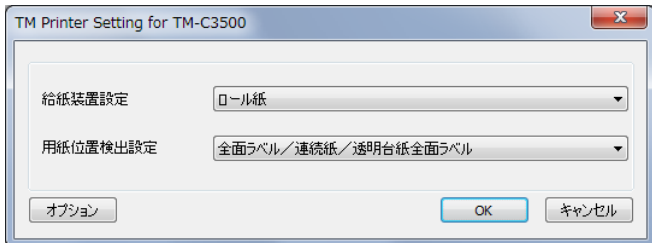
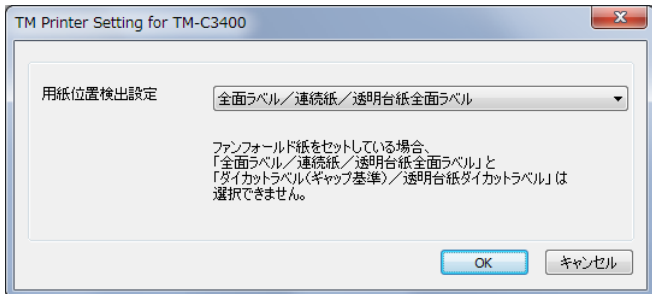
設定	説明
IP アドレスを自動的に取得する (DHCP を利用する)	チェックすると、DHCP を利用して IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを自動的に取得します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。
ロケーション	プリンターの設置場所を入力します。
管理者名	管理者名を入力します。

## 5 [機種名]から、設定するプリンターを選択します。





## 6 [バックアップファイル作成]をクリックします。



機種							
設定	説明						
TM-C3500	 <p>以下を設定し、[OK] をクリックします。自動的にバックアップファイルが作成され、[登録] にバックアップファイルが指定されます。</p> <p>プリンタードライバーの設定は、給紙装置設定と用紙位置検出設定の内容に合った設定にする必要があります。詳細は、TM-C3500 詳細取扱説明書を参照してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>給紙装置設定</td> <td>プリンターの給紙装置を設定します。</td> </tr> <tr> <td>用紙位置検出設定</td> <td>使用する用紙種類を設定します。</td> </tr> <tr> <td>オプション</td> <td>大径ロール紙の使用を設定します。</td> </tr> </table>	給紙装置設定	プリンターの給紙装置を設定します。	用紙位置検出設定	使用する用紙種類を設定します。	オプション	大径ロール紙の使用を設定します。
給紙装置設定	プリンターの給紙装置を設定します。						
用紙位置検出設定	使用する用紙種類を設定します。						
オプション	大径ロール紙の使用を設定します。						
TM-C3400	 <p>以下を設定し、[OK] をクリックします。自動的にバックアップファイルが作成され、[登録] にバックアップファイルが指定されます。</p> <p>プリンタードライバーの設定は、用紙位置検出設定の内容に合った設定にする必要があります。詳細は、TM-C3400 詳細取扱説明書を参照してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>用紙位置検出設定</td> <td>使用する用紙種類を設定します。</td> </tr> </table>	用紙位置検出設定	使用する用紙種類を設定します。				
用紙位置検出設定	使用する用紙種類を設定します。						



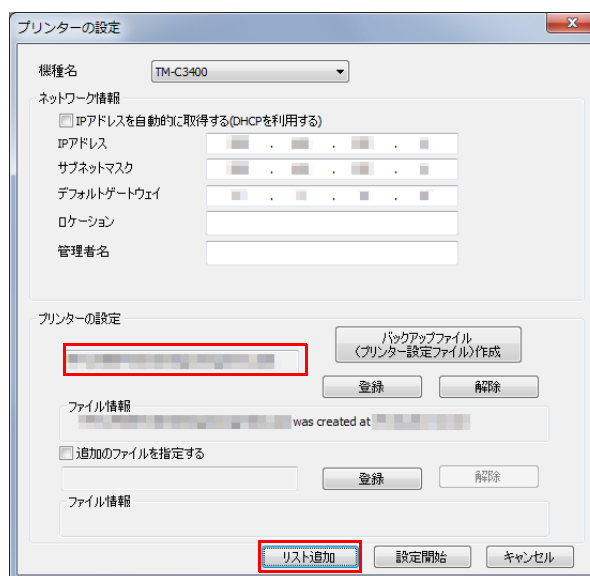
機種	
設定	説明
<p>Advanced Printer Driver 対応プリンター 以下のソフトウェアでプリンターの設定をします。 自動的にバックアップファイルが作成され、[登録]にバックアップファイルが指定されます。</p> <p style="text-align: center;">&lt;機種専用ユーティリティ&gt; * &lt;Memory Switch Setting&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>* 機種によって表示される画面が異なります。</p>	

**7** バックアップファイルを作成します。

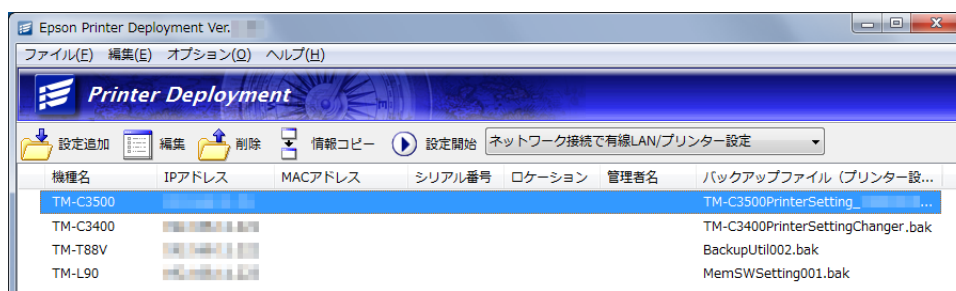
**8** バックアップファイルが登録されたことを確認して、[リスト追加]をクリックします。



[追加のファイルを指定する]をチェックすると、追加ファイルを設定できます。[登録]をクリックし、追加するファイルを指定してください。



## 9 手順3に戻り、設定リストの作成を繰り返します。



- プリンターの設定リストは、接続方法ごとに作成します。
- プリンターの設定リストから、設定を選択し、[情報コピー]をクリックすると、設定リストに設定のコピーが追加されます。設定が似ている場合に便利な機能です。
- ネットワーク接続で、[情報コピー]をクリックして設定を追加した場合、コピーした設定のIPアドレスは必ず修正してください。
- 作成したプリンターの設定リストは、CSV ファイル形式で保存できます。詳細は、[CSV ファイルの活用 \(45 ページ\)](#) を参照してください。

以上で、設定リストの完成です。

## ローカル接続でプリンター設定

以下の手順で、設定リストを作成します。

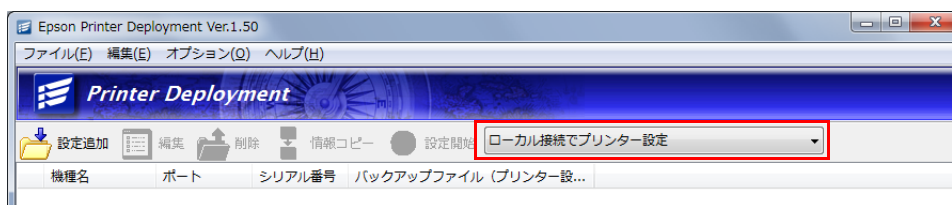
### 1 [ スタート ]-[ すべてのプログラム ]-[Epson]-[Deployment Tool]-[Epson Printer Deployment] を選択します。

Epson Printer Deployment が起動します。

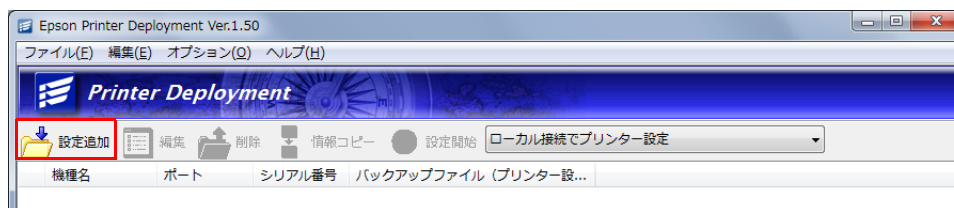


- 管理者権限で実行してください。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

### 2 設定するプリンターの接続方法から、[ ローカル接続でプリンター設定 ] を選択します。

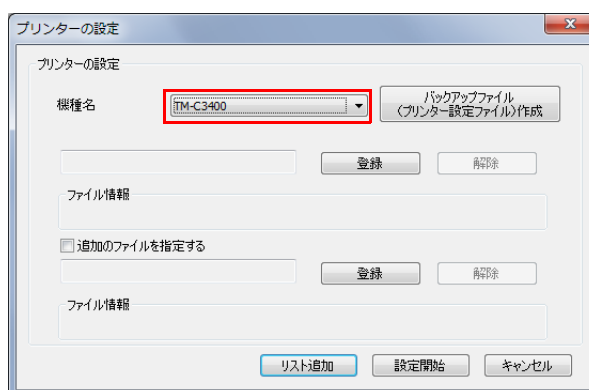


### 3 [設定追加] をクリックします。

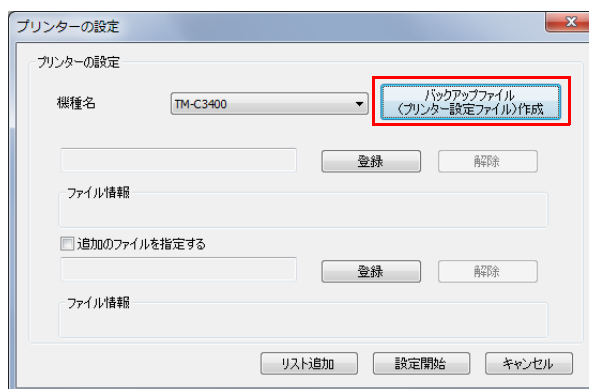


事前に設定リストを CSV 形式のファイルで作成した場合、メニューバーの [ファイル]-[CSV ファイル入力] からインポートしてください。

### 4 「プリンターの設定」画面が表示されます。 [機種名] から、設定するプリンターを選択します。

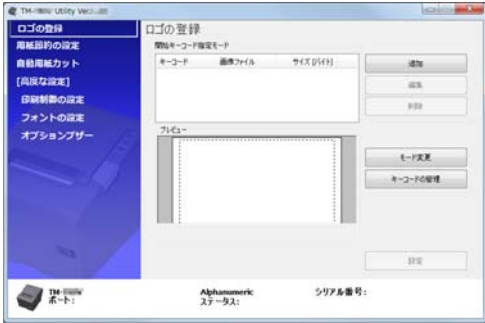



5 [バックアップファイル作成] をクリックします。



機種							
設定	説明						
TM-C3500	<p>以下を設定し、[OK] をクリックします。自動的にバックアップファイルが作成され、[登録] にバックアップファイルが指定されます。</p> <p>プリンタードライバーの設定は、給紙装置設定と用紙位置検出設定の内容に合った設定にする必要があります。詳細は、TM-C3500 詳細取扱説明書を参照してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>給紙装置設定</td> <td>プリンターの給紙装置を設定します。</td> </tr> <tr> <td>用紙位置検出設定</td> <td>使用する用紙種類を設定します。</td> </tr> <tr> <td>オプション</td> <td>大径ロール紙の使用を設定します。</td> </tr> </table>	給紙装置設定	プリンターの給紙装置を設定します。	用紙位置検出設定	使用する用紙種類を設定します。	オプション	大径ロール紙の使用を設定します。
給紙装置設定	プリンターの給紙装置を設定します。						
用紙位置検出設定	使用する用紙種類を設定します。						
オプション	大径ロール紙の使用を設定します。						
TM-C3400	<p>以下を設定し、[OK] をクリックします。自動的にバックアップファイルが作成され、[登録] にバックアップファイルが指定されます。</p> <p>プリンタードライバーの設定は、用紙位置検出設定の内容に合った設定にする必要があります。詳細は、TM-C3400 詳細取扱説明書を参照してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>用紙位置検出設定</td> <td>使用する用紙種類を設定します。</td> </tr> </table>	用紙位置検出設定	使用する用紙種類を設定します。				
用紙位置検出設定	使用する用紙種類を設定します。						

3

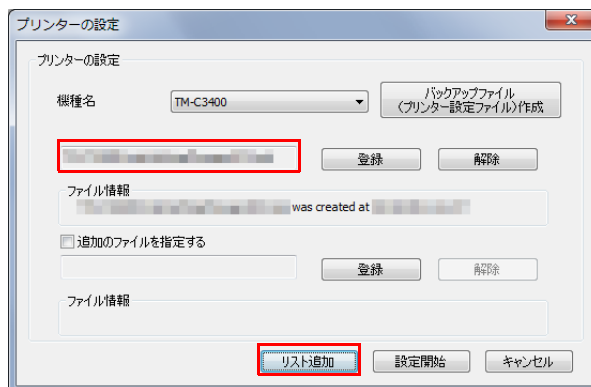
機種	
設定	説明
<p>Advanced Printer Driver 対応プリンター 以下のソフトウェアでプリンターの設定をします。 自動的にバックアップファイルが作成され、[登録]にバックアップファイルが指定されます。</p> <p style="text-align: center;">&lt;機種専用ユーティリティー *&gt;</p> 	<p style="text-align: center;">&lt;Memory Switch Setting&gt;</p> 
* 機種によって表示される画面が異なります。	

## 6 バックアップファイルを作成します。

## 7 バックアップファイルが登録されたことを確認して、[リスト追加]をクリックします。



[追加のファイルを指定する]をチェックすると、追加ファイルを設定できます。[登録]をクリックし、追加するファイルを指定してください。



## 8 手順3に戻り、設定リストの作成を繰り返します。



- プリンターの設定リストは、接続方法ごとに作成します。
- プリンターの設定リストから、設定を選択し、[情報コピー]をクリックすると、設定リストに設定のコピーが追加されます。設定が似ている場合に便利な機能です。
- ネットワーク接続で、[情報コピー]をクリックして設定を追加した場合、コピーした設定のIPアドレスは必ず修正してください。
- 作成したプリンターの設定リストは、CSVファイル形式で保存できます。詳細は、[CSVファイルの活用 \(45 ページ\)](#) を参照してください。

以上で、設定リストの完成です。

## ローカル接続で Wi-Fi/ プリンター設定

ローカル接続された Wi-Fi 機器のネットワーク設定をします。以下の手順で、設定します。



ローカル接続で Wi-Fi/ プリンター設定をすると、無線 LAN のセキュリティーを WPA-Enterprise/WPA2-Enterprise に設定したり、証明書をインポートしたりできます。その場合、プリンターのファームウェアバージョンを確認してください。設定可能なプリンターとファームウェアバージョンの詳細は [14 ページ「サポート機種」](#) を参照してください。



証明書を追加する場合、事前に証明書を準備しておいてください。

- クライアント認証の場合
  - \* クライアント証明書と秘密鍵を 1 つのパッケージにします。パッケージは、PKCS#12 形式にします。PKCS#12 のパスワードは、64 文字以内で設定してください。
  - \* EpsonNet Config で HTTPS 通信を行う場合にクライアント証明書を使用するときは、WPA-Enterprise または WPA2-Enterprise、および SSL の両方で使用する設定で証明書を作成します。
- サーバー認証の場合
  - \* CA 証明書を DER または PEM 形式にします。

### 1 [ スタート ]-[ すべてのプログラム ]-[Epson]-[Deployment Tool]-[Epson Printer Deployment] を選択します。

Epson Printer Deployment が起動します。



- 管理者権限で実行してください。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、「はい」をクリックしてください。

### 2 [ ローカル接続で Wi-Fi/ プリンター設定 ] を選択します。

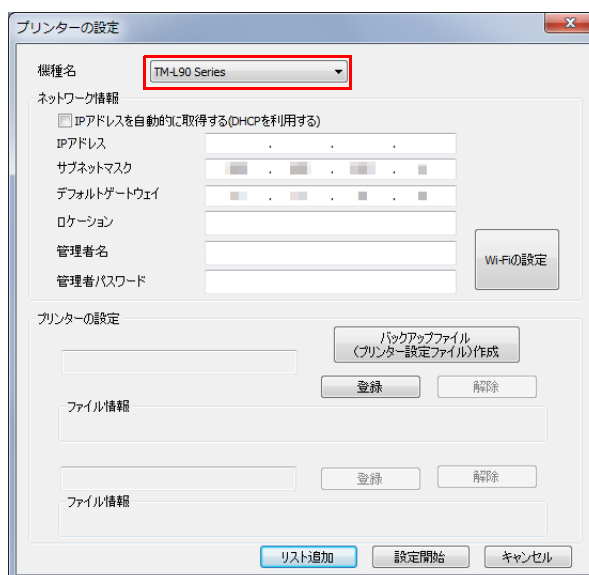


### 3 [ 設定追加 ] をクリックします。

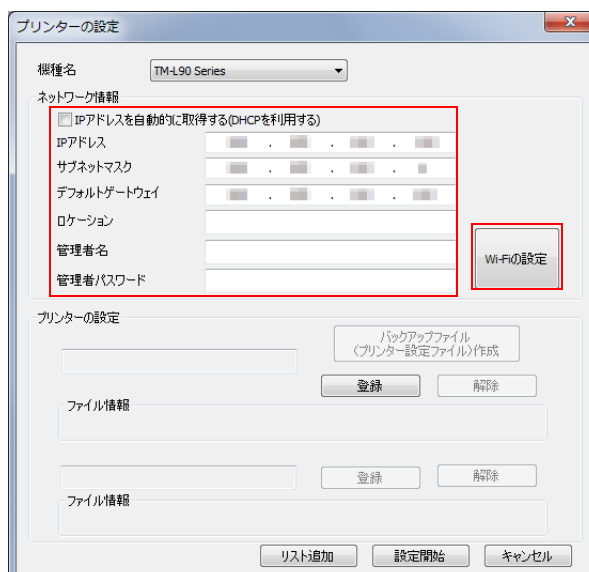




- 4 「プリンターの設定」画面が表示されます。  
 [機種名]から、設定するプリンターを選択します。  
 TM-T88VIを選択した場合は、[TM-T88VIを選択した場合\(40ページ\)](#)へ進んでください。



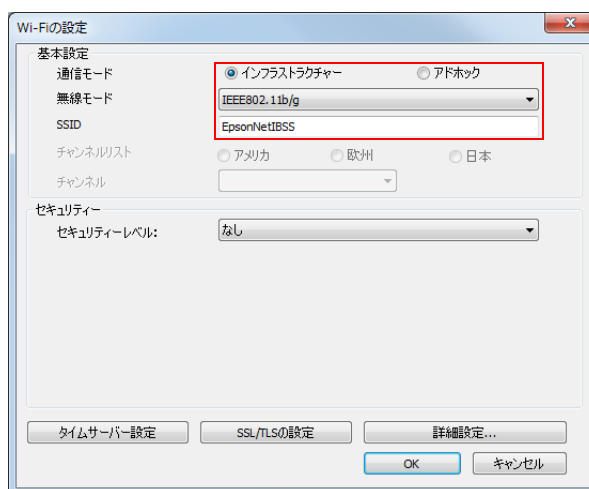
- 5 IPアドレスやサブネットマスクなどを指定し、[Wi-Fiの設定]をクリックします。



設定	説明
IPアドレスを自動的に取得する(DHCPを利用する)	チェックすると、DHCPを利用してIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを自動的に取得します。
IPアドレス	IPアドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。
ロケーション	プリンターの設置場所を入力します。
管理者名	管理者名を入力します。

## 6 「Wi-Fi の設定」画面が表示されます。通信モード、無線モードを選択し、SSID を入力します。

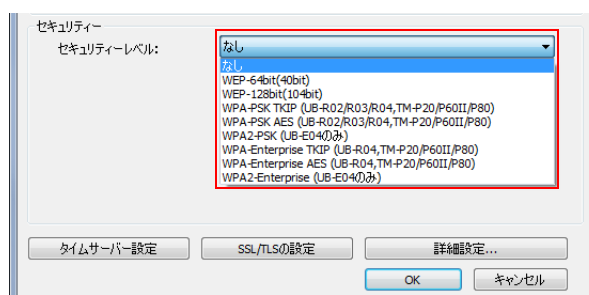
設定は、使用している Wi-Fi ルーターの設定に合わせてください。



## 7 セキュリティレベルを指定します。TM プリンターの機種とセキュリティレベルにより、設定が異なります。

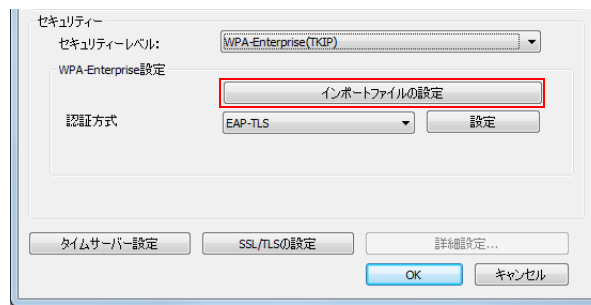


WPA-Enterprise/WPA2-Enterprise は、IEEE 802.1X 認証サーバーを使う方式です。

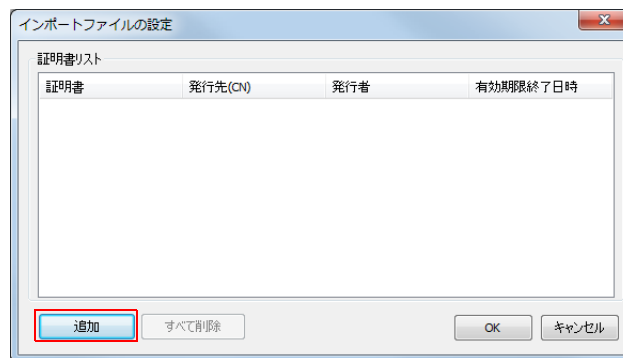


[ なし ] を選択した場合	[OK] をクリックします。 手順 14 へ進みます。
[WEP-64bit(40bit)] / [WEP-128bit(104bit)] を選択した場合	WEP キーを指定し、[OK] をクリックします。 手順 14 へ進みます。
[WPA-PSK(TKIP)] / [WPA-PSK(AES)] / [WPA2-PSK] を選択した場合	PSK(事前共有キー)を指定し、[OK] をクリックします。 手順 14 へ進みます。
[WPA-Enterprise(TKIP)] / [WPA-Enterprise(AES)] / [WPA2-Enterprise] を選択した場合	手順 8 へ進みます。

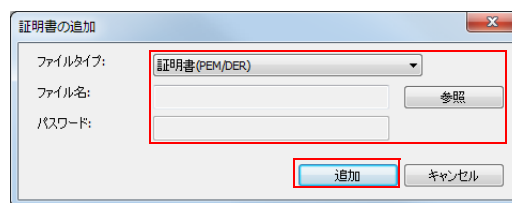
## 8 「インポートファイルの設定」をクリックします。



## 9 「インポートファイルの設定」画面が表示されます。「追加」をクリックします。



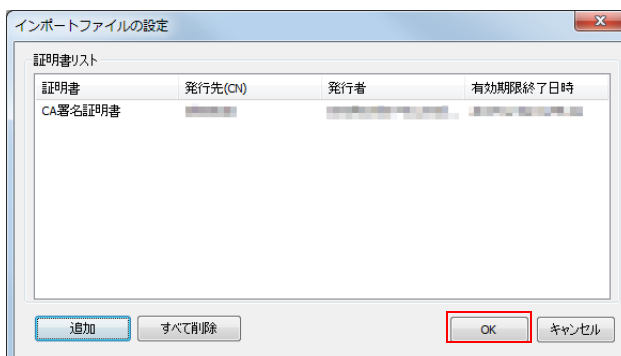
## 10 「証明書の追加」画面が表示されます。ファイルタイプを選択し、ファイル名を指定します。「追加」をクリックします。



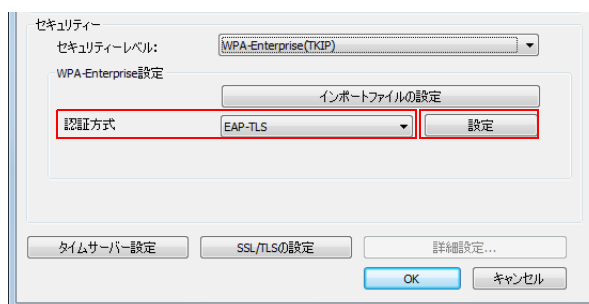
項目	説明
ファイルタイプ	ファイルタイプを選択します。選択できるファイルタイプは、PEM/DER 形式とパスワードで保護された PKCS#12 形式のファイルです。 サーバー認証用の CA 証明書を指定する場合、[証明書 (PEM/DER)] を選択します。 IEEE802.1X 認証で使用するクライアント証明書を指定する場合、[秘密鍵付き証明書 (PKCS#12)] を選択します。
ファイル名	証明書を指定します。[参照] をクリックし、ファイルを指定します。 CA 証明書は 10 個までプリンターに追加できます。 クライアント証明書は 3 個までプリンターに追加できます。
パスワード	ファイルタイプで [秘密鍵付き証明書 (PKCS#12)] を選択した場合、クライアント証明書の作成時に指定したパスワードを入力します。

- 11 「インポートファイルの設定」画面が表示されます。追加した証明書の情報が表示されます。[OK] をクリックします。

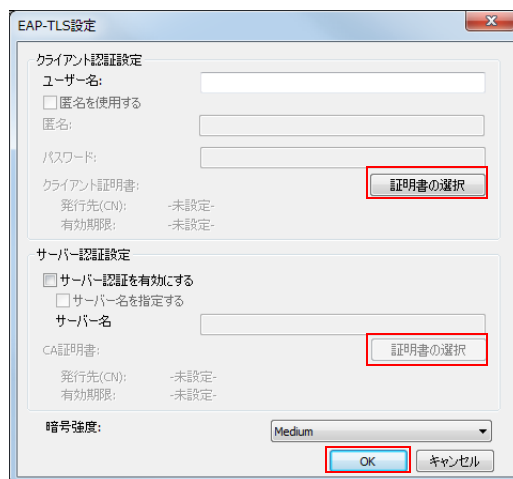
複数の証明書を追加する場合、[追加] をクリックし証明書を追加します。



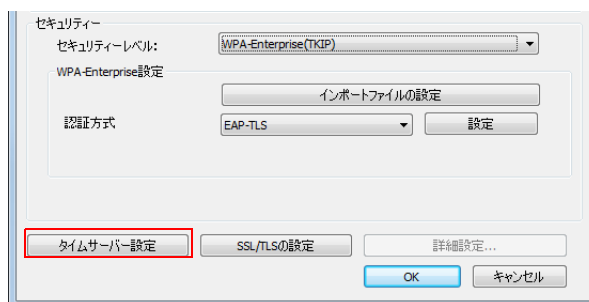
- 12 「Wi-Fi の設定」画面が表示されます。認証方式を選択し、[設定] をクリックします。



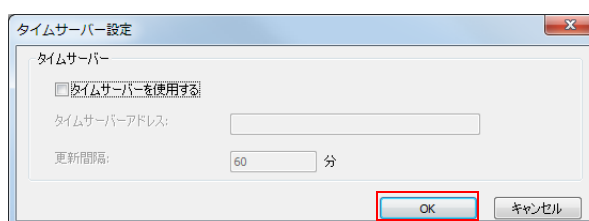
- 13 認証方式に応じた設定画面が表示されます。[証明書の選択] をクリックし、追加した証明書から使用する証明書を選択します。[OK] をクリックします。



**14** 「Wi-Fi の設定」画面が表示されます。[タイムサーバー設定] をクリックします。



**15** 「タイムサーバー設定」画面が表示されます。タイムサーバーを設定し、[OK] をクリックします。

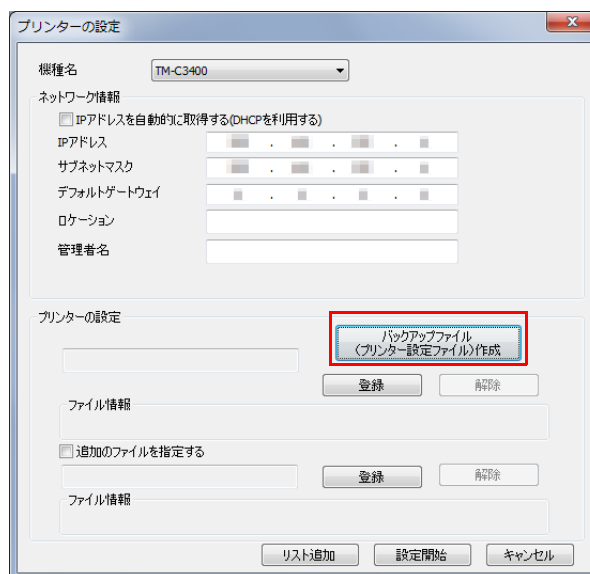




項目	説明
タイムサーバーを使用する	チェックすると、タイムサーバーが有効になります。
タイムサーバーアドレス	タイムサーバーアドレスを入力します。タイムサーバーアドレスには、タイムサーバーの IP アドレス (IPv4) または URL を入力します。
更新間隔	更新間隔を入力します。

**16** 「Wi-Fi の設定」画面が表示されます。[OK] をクリックします。  
任意で SSL/TLS 設定をします。

項目	説明
SSL/TLS 設定	[SSL/TLS 設定] をクリックすると、「SSL/TLS 設定」画面が表示されます。使用する証明書の指定や、自己署名証明書の作成ができます。

## 17 [バックアップファイル作成] をクリックします。



機種	
設定	説明
Advanced Printer Driver 対応プリンター	
以下のソフトウェアでプリンターの設定をします。	
自動的にバックアップファイルが作成され、[登録]にバックアップファイルが指定されます。	
<p>&lt;機種専用ユーティリティー*&gt;</p> 	<p>&lt;Memory Switch Setting&gt;</p> 
* 機種によって表示される画面が異なります。	

## 18 バックアップファイルを作成します。

## 19 「プリンターの設定」画面が表示されます。 [リスト追加] をクリックします。

[登録] をクリックし、ファイルを指定すると、追加ファイルを設定できます。



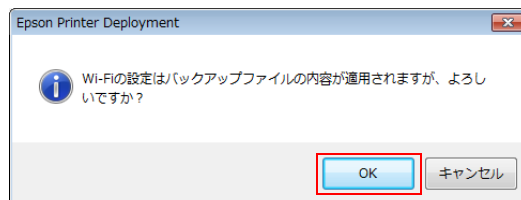
## 20 リストにプリンターが追加されます。 手順3に戻り、設定リストの作成を繰り返します。



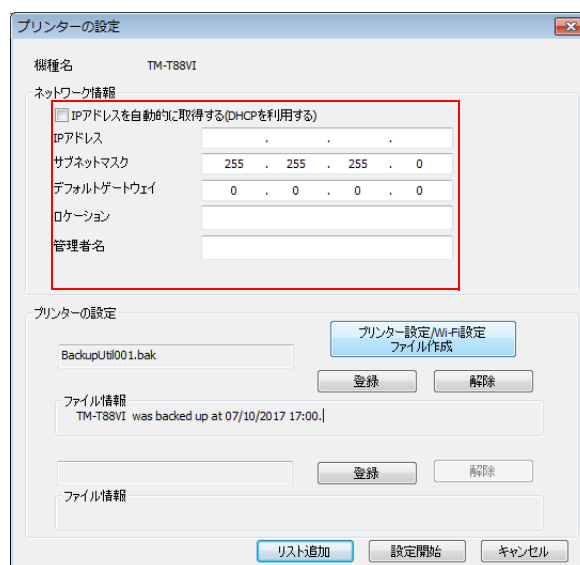
- プリンターの設定リストは、接続方法ごとに作成します。
- プリンターの設定リストから、設定を選択し、[情報コピー] をクリックすると、設定リストに設定のコピーが追加されます。設定が似ている場合に便利な機能です。
- ネットワーク接続で、[情報コピー] をクリックして設定を追加した場合、コピーした設定の IP アドレスは必ず修正してください。
- 作成したプリンターの設定リストは、CSV ファイル形式で保存できます。詳細は、[CSV ファイルの活用 \(45 ページ\)](#) を参照してください。

## TM-T88VI を選択した場合

- 5 TM-T88VI を選択すると、次の画面が表示されます。  
[OK] をクリックします。



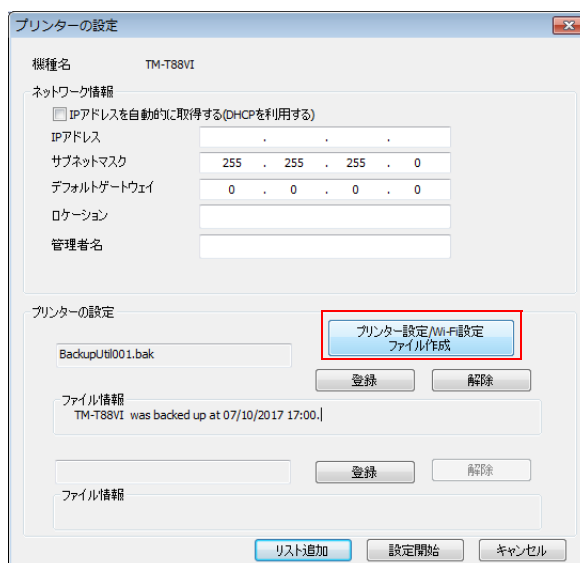
- 6 IP アドレスやサブネットマスクなどを指定します。



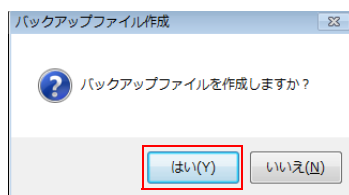
設定	説明
IP アドレスを自動的に取得する (DHCP を利用する)	チェックすると、DHCP を利用して IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを自動的に取得します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。
ロケーション	プリンターの設置場所を入力します。
管理者名	管理者名を入力します。



- 7 [プリンター設定 /Wi-Fi 設定 ファイル作成] をクリックします。  
TM-T88VI ユーティリティが起動します。



- 8 TM-T88VI ユーティリティで Wi-Fi 設定を行います。
- 9 TM-T88VI ユーティリティを終了すると、次の画面が表示されます。  
[はい] をクリックします。



- 10 「プリンターの設定」画面が表示されます。  
[リストに追加] をクリックします。
- 11 プリンターがリストに追加されます。  
手順3に戻り、設定リストの作成を繰り返します。



- プリンターの設定リストは、接続方法ごとに作成します。
- プリンターの設定リストから、設定を選択し、[情報コピー] をクリックすると、設定リストに設定のコピーが追加されます。設定が似ている場合に便利な機能です。
- ネットワーク接続で、[情報コピー] をクリックして設定を追加した場合、コピーした設定の IP アドレスは必ず修正してください。
- 作成したプリンターの設定リストは、CSV ファイル形式で保存できます。詳細は、[CSV ファイルの活用 \(45 ページ\)](#) を参照してください。

## 設定リストを使ってプリンターを設定

事前に準備した設定リストを使って、プリンターを設定します。  
以下の手順で設定します。



ネットワークプリンターの場合、管理者コンピューターを、設定後のプリンターと同一ネットワークになるように設定してください。

### 1 [ スタート ]-[ すべてのプログラム ]-[Epson]-[Deployment Tool]-[Epson Printer Deployment] を選択します。

Epson Printer Deployment が起動します。



- 管理者権限で実行してください。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、「はい」をクリックしてください。

### 2 設定するプリンターを、ネットワーク、もしくはコンピューターに接続します。 接続方法およびプリンター/インターフェイスの種類によって、接続できるインターフェイスが異なります。以下を参照してください。

接続方法	プリンター/ インターフェイス	インターフェイス
ネットワーク接続で有線 LAN/ プリンター設定	TM-T88VI を除くすべての機種	有線 LAN
ローカル接続でプリンター設定	TM-T88VI を除くすべての機種	USB/ シリアル /Bluetooth®/ パラレル
ローカル接続で Wi-Fi/ プリンター設定	TM-P20/TM-P60II/TM-P80/ UB-R04 搭載の TM プリンター	USB
	TM-m10/TM-m30/ UB-E04 搭載の TM プリンター	有線 LAN
	TM-T88VI	USB/ シリアル /Bluetooth®/ パラレル / 有線 LAN

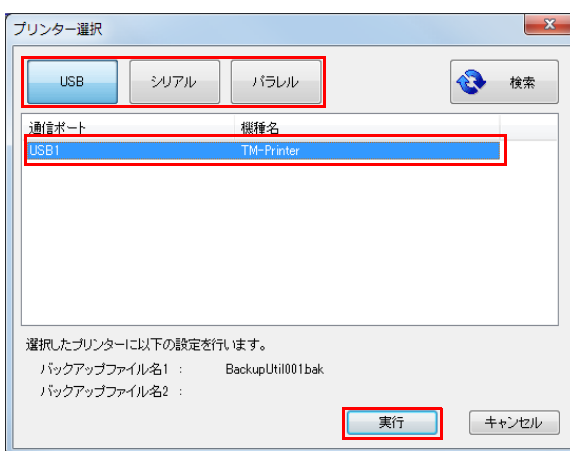
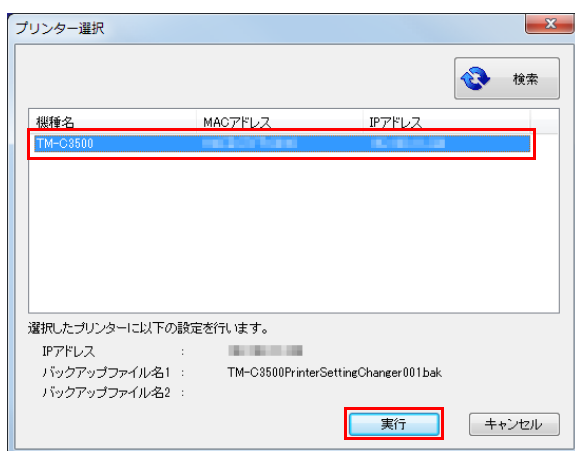
### 3 実行する設定を選択し、[ 設定開始 ] をクリックします。



### 4 「プリンター選択」画面が表示されます。 設定するプリンターを選択し、[ 実行 ] をクリックします。 設定が開始されます。

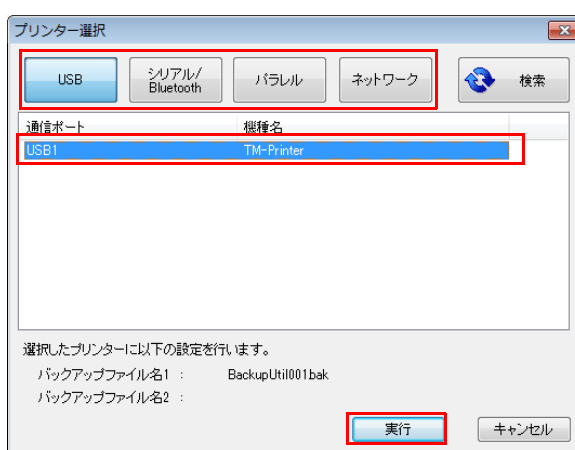
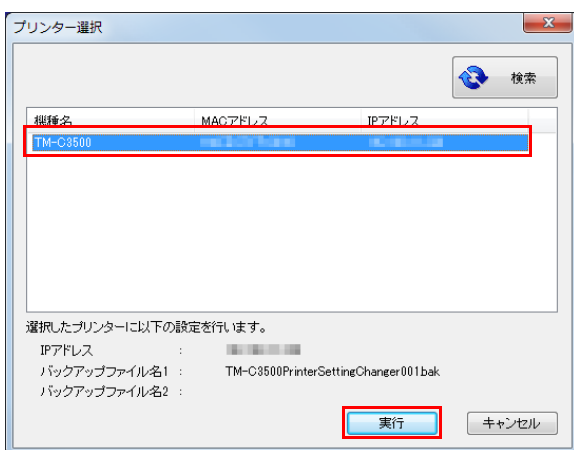
< ネットワーク接続で有線 LAN/ プリンター設定 >

< ローカル接続でプリンター設定 >



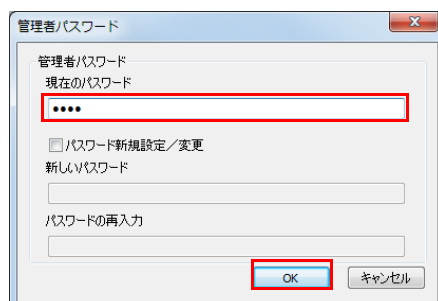
< ローカル接続で Wi-Fi/ プリンター設定 >  
(TM-T88VI 以外)

< ローカル接続で Wi-Fi/ プリンター設定 >  
(TM-T88VI)

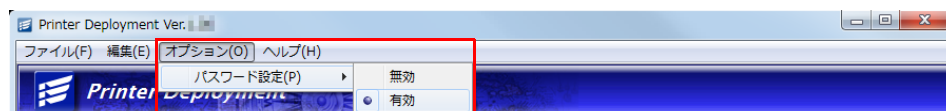


- プリンターの接続方法が「ネットワーク接続で有線 LAN/プリンター設定」か、「ローカル接続で Wi-Fi/プリンター設定」の場合、[ 検索 ] をクリックすると、管理者コンピューターのネットワーク内にあるプリンターを検索し、表示されます。
- 以下の場合、インターフェイスを選択し、[ 検索 ] をクリックすると、管理者コンピュータに接続されているプリンターを検索し、表示されます。
  - \* プリンターの接続方法が「ローカル接続でプリンター設定」
  - \* TM-T88VI の接続方法が「ローカル接続で Wi-Fi/プリンター設定」

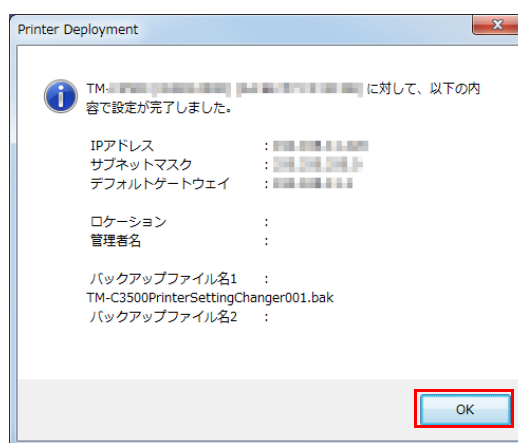
- 5 接続方法が「ネットワーク接続で有線LAN/プリンター設定」または「ローカル接続でWi-Fi/プリンター設定」で、[オプション]-[パスワード設定]が「有効」になっている場合、「管理者パスワード」画面が表示されます。パスワードを入力し、[OK]をクリックします。パスワードを設定していない場合、何も入力せず[OK]をクリックします。パスワードを新規設定/変更したい場合、[パスワードを新規設定/変更]をチェックし、パスワードを入力します。



管理者パスワードの設定は、メニューバーの[オプション]-[パスワード設定]で、「有効」/「無効」を設定できます。

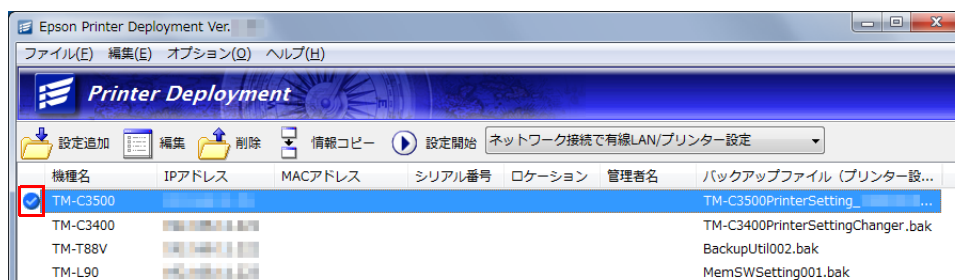


- 6 設定完了画面が表示されます。[OK]をクリックします。



設定完了画面に表示される内容は、プリンターの接続方法によって異なります。

- 7 設定が完了すると、メイン画面に設定結果が表示されます。手順2～手順6を繰り返し、プリンターの設定をします。



## CSV ファイルの活用

本ツールは、CSV ファイルを使った以下の活用方法があります。

- 事前に CSV 形式のファイルで、設定リストを作成する。  
プリンターに割り当てた IP アドレスやバックアップファイルの情報を、事前に CSV ファイルにリストにして、本ツールで設定リストを作成する際にインポートできます。



設定リストを CSV ファイルで作成する際、本ツールからエクスポートした CSV ファイルをテンプレートにして作成してください。



CSV ファイルの見方の詳細は、[CSV ファイルの見方 \(46 ページ\)](#) を参照してください。

- 本ツールで作成した設定リストを CSV ファイルで保存する。  
プリンターの設定をまとめて管理でき、必要な場合にプリンターの設定を復元できます。

## インポートとエクスポート



- インポート  
メニューバーの [ファイル]-[CSV ファイル入力]
- エクスポート  
メニューバーの [ファイル]-[CSV ファイル出力]

## CSV ファイルの見方

1レコードの項目数			
189項目 (Microsoft Excel の場合 :A列～GG列)			
設定項目	要否	CSVの項目 (Microsoft Excel)	項目のフォーマット
ネットワーク情報 (プリンターの接続方法が " ローカル接続でプリンター設定 " の場合、設定不要な項目です。)			
IPアドレス	必須	9項目 (I列)	IPv4形式で入力
サブネットマスク	-	11項目 (K列)	IPv4形式で入力
デフォルトゲートウェイ	必須	12項目 (L列)	IPv4形式で入力
ロケーション	任意	14項目 (N列)	文字列で入力
管理者名	任意	15項目 (O列)	文字列で入力
バックアップファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク接続で有線 LAN/ プリンター設定 : 任意</li> <li>ローカル接続でプリンター設定 : 必須</li> <li>ローカル接続で Wi-Fi/ プリンター設定 : 任意</li> </ul>	16項目 (P列)	バックアップファイルのフルパスを入力

## ドライバーインストールパッケージの作成

ドライバーインストールパッケージの作成方法は、プリンタードライバーに対応する機種によって異なります。

- [TM-C3500/TM-C3400/GP-C831\(47 ページ\)](#)
- [Advanced Printer Driver Ver.4\(63 ページ\)](#)
- [Advanced Printer Driver Ver.5\(67 ページ\)](#)

### TM-C3500/TM-C3400/GP-C831

TM-C3500/TM-C3400 のドライバーインストールパッケージの作成は、ドライバーパッケージを配布する方法によって、手順が異なります。

- [単体のドライバーインストールパッケージを配布する場合 \(48 ページ\)](#)
- [異なる設定のドライバーインストールパッケージを 複数のクライアントコンピューターに配布する場合 \(55 ページ\)](#)



事前に EpsonNet SetupManager を、インストールしてください。

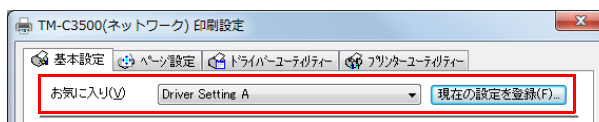
## 単体のドライバーインストールパッケージを配布する場合

以下の手順で、ドライバーインストールパッケージを作成します。

### 1 ドライバーインストールパッケージにするプリンタードライバーを、事前にインストールし、設定します。



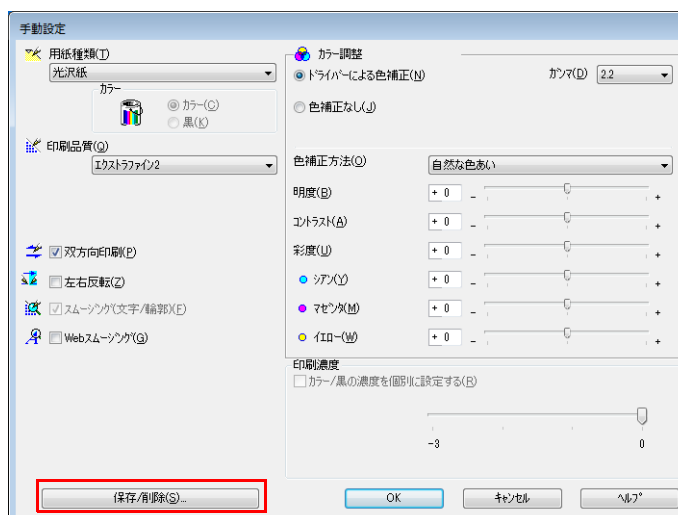
- TM-C3400/C3500  
プリンタードライバーの設定は、[お気に入り]に登録してください。コピーしたいドライバーの設定を、お気に入りの設定リストの一番上に移動してください。



- GP-C831  
\* プリンタードライバーの設定は、[基本設定]タブのモード設定 - [詳細設定]をチェックすると、ドロップダウンリストが表示されます。そこから選択してください。



- \* 設定を登録する場合は、[設定変更]をクリックすると、「手動設定」画面が表示されます。設定してから [保存 / 削除] をクリックし、設定名を付けて保存します。





## 2 [ スタート ]-[ すべてのプログラム ]-[Epson]-[Deployment Tool]-[Epson Driver Deployment] を選択します。

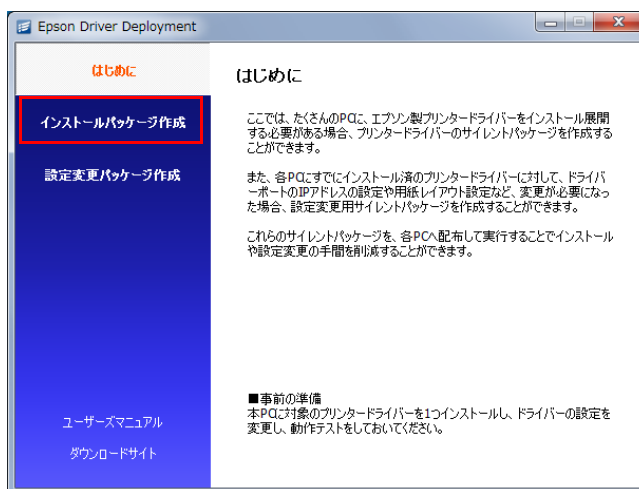


管理者権限で実行してください。

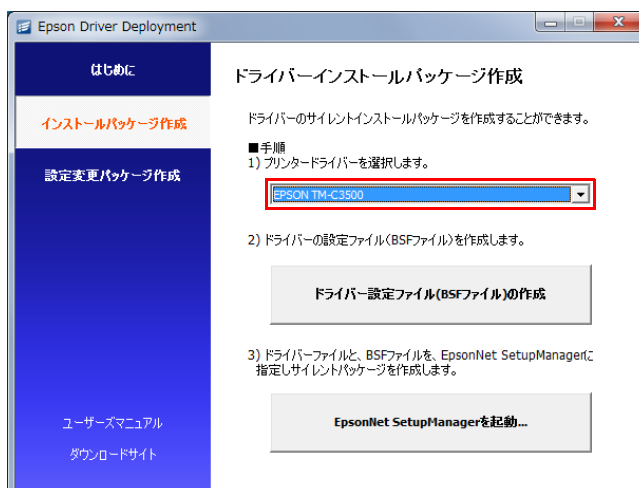


「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、「はい」をクリックしてください。

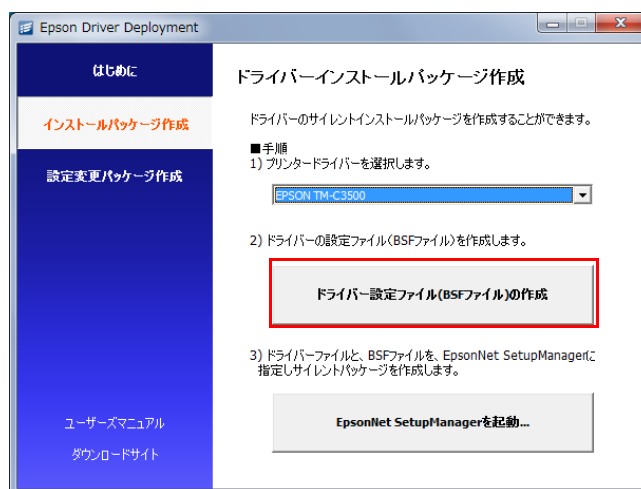
## 3 「Epson Driver Deployment Navi」画面が表示されます。 [ インストールパッケージ作成 ] を選択します。



## 4 ドライバーインストールパッケージにするプリンタードライバーを選択します。

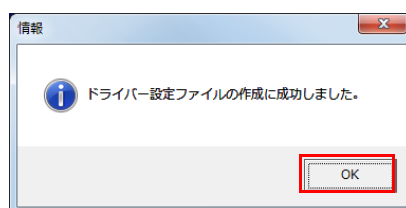


## 5 [ドライバー設定ファイル (BSF ファイル) の作成] をクリックします。

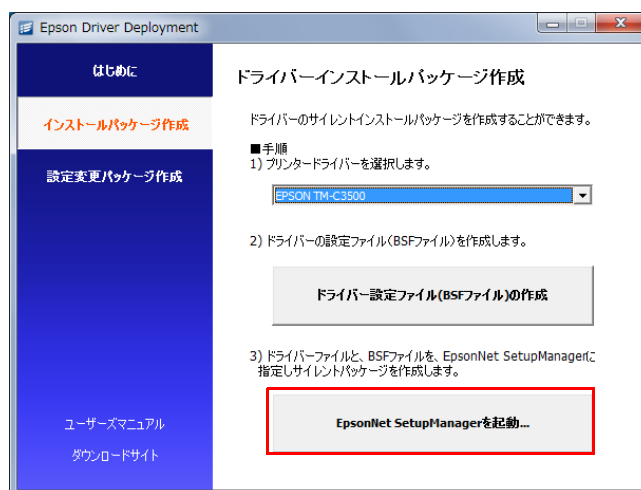


## 6 「名前を付けて保存」画面が表示されます。 ドライバー設定ファイルの保存先を指定し、[保存] をクリックします。 ドライバー設定ファイルが保存されます。

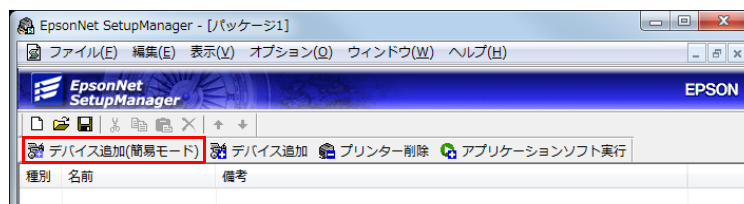
## 7 ドライバーの設定ファイル作成終了画面が表示されます。[OK] をクリックします。



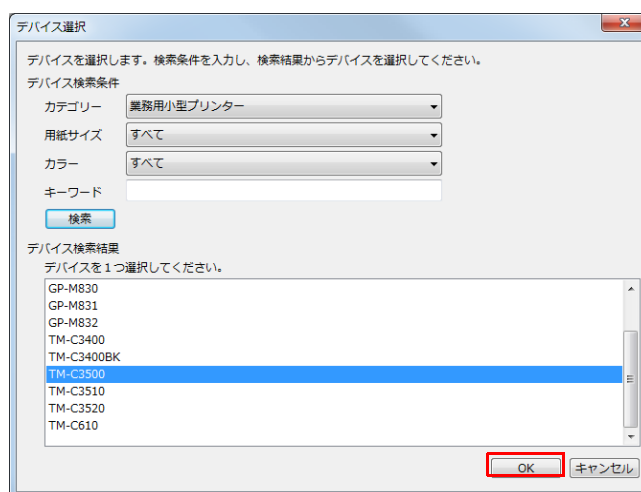
## 8 サイレントパッケージを作成します。[EpsonNet SetupManagerを起動] をクリックします。



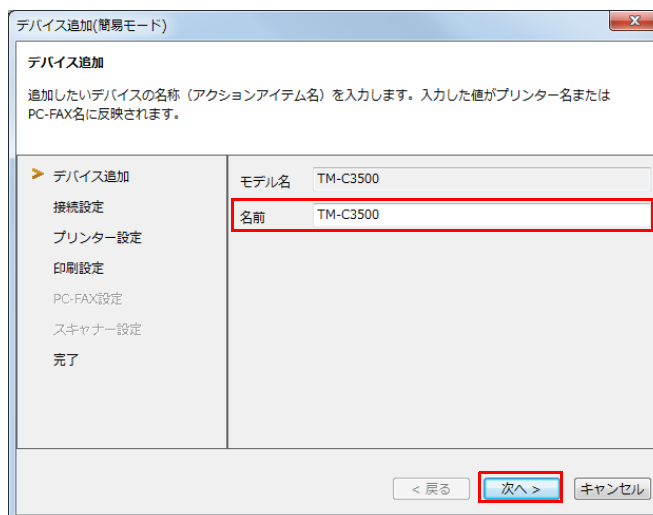
- 9 EpsonNet SetupManager が起動します。  
[デバイス追加 (簡易モード)] をクリックします。



- 10 「デバイス選択」画面が表示されます。  
デバイスを選択し、[OK] をクリックします。



- 11 「デバイス追加」画面が表示されます。  
[名前] にプリンター名 (プリンターキュー) を指定し、[次へ] をクリックします。



- 12** 「接続」画面が表示されます。  
デバイスの接続方法を設定し、[次へ]をクリックします。

デバイス追加(簡易モード)

接続設定  
デバイスの接続方法を指定します。

デバイス追加  
接続設定  
プリンター設定  
印刷設定  
PC-FAX設定  
スキャナー設定  
完了

ネットワーク接続  
アドレス形式 IPアドレス  
アドレス

ローカル接続  
ポート USB

< 戻る 次へ > キャンセル



デバイスの接続方法を [ ネットワーク接続 ] にした場合、プリンターの IP アドレスを指定してください。

- 13** 「プリンター設定」画面が表示されます。  
[検索]をクリックし、プリンタードライバーファイルを指定します。

デバイス追加(簡易モード)

プリンター設定  
プリンターを設定します。

デバイス追加  
接続設定  
プリンター設定  
印刷設定  
PC-FAX設定  
スキャナー設定  
完了

プリンターの名前 TM-C3500

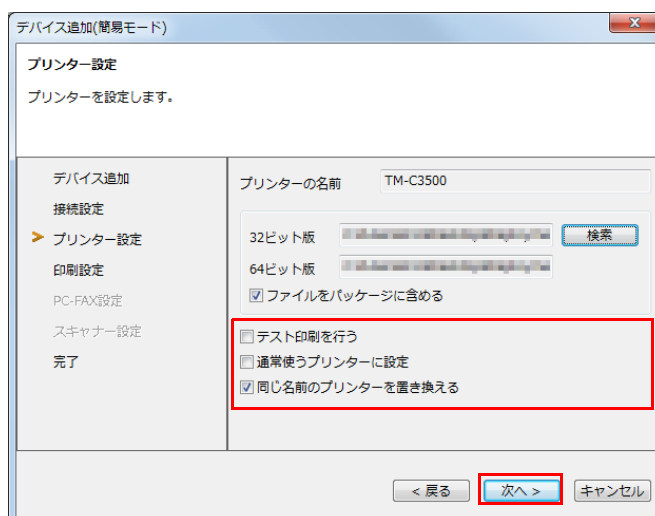
32ビット版  
64ビット版

ファイルをパッケージに含める

テスト印刷を行う  
 通常使うプリンターに設定  
 同じ名前のプリンターを置き換える

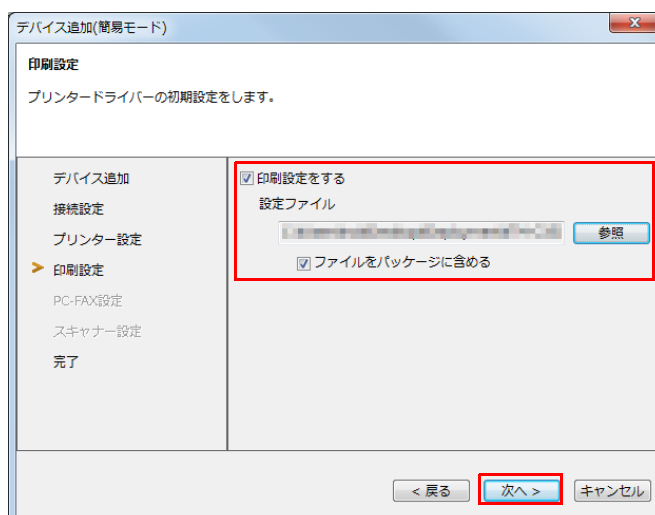
< 戻る 次へ > キャンセル

## 14 以下を設定し、[次へ]をクリックします。



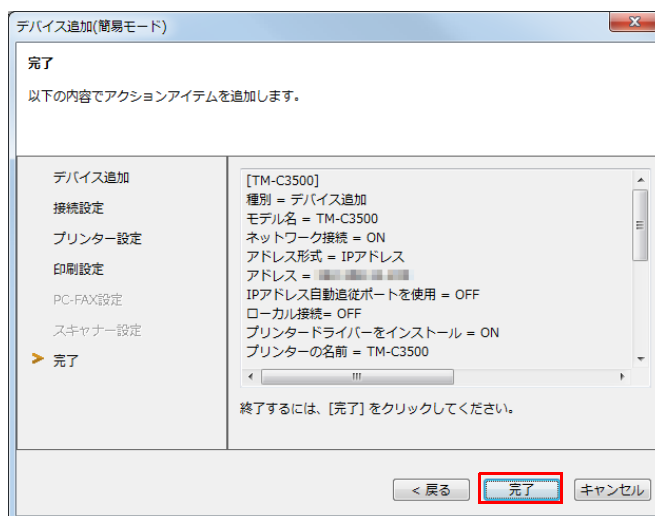
設定	説明
テスト印刷を行う	サイレントパッケージの実行時に、テスト印刷します。
通常使うプリンターに設定	インストールしたプリンターを、通常使うプリンターにします。
同じ名前のプリンターを置き換える	すでにインストールするプリンターと同じプリンター名が存在する場合、置き換えます。

## 15 「印刷設定」画面が表示されます。以下を設定し、[次へ]をクリックします。

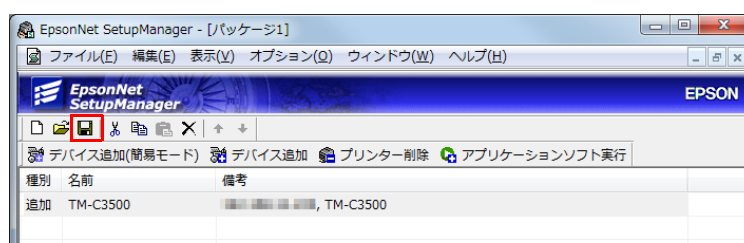


設定	説明
印刷設定をする	チェックします。
設定ファイル	手順6で作成した、ドライバー設定ファイルを指定します。
ファイルをパッケージに含める	チェックします。

- 16** 「完了」画面が表示されます。  
設定した内容を確認し、[完了]をクリックします。

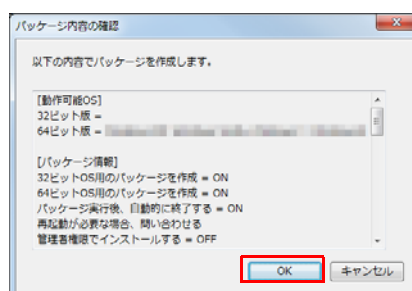


- 17** EpsonNet SetupManager の画面に戻ります。  
[上書き保存] をクリックします。



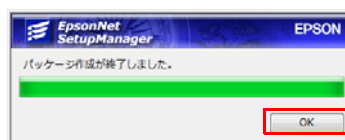
プリンタードライバーに同梱している Printer Setting も配布したい場合、[アプリケーションソフト実行] をクリックし、Printer Setting のパッケージを組み込んでください。

- 18** 「パッケージの内容確認」画面が表示されます。[OK] をクリックします。



- 19** 「名前を付けて保存」画面が表示されます。  
パッケージの保存先を指定し、[保存] をクリックします。

- 20** 以下の画面が表示されます。[OK] をクリックします。



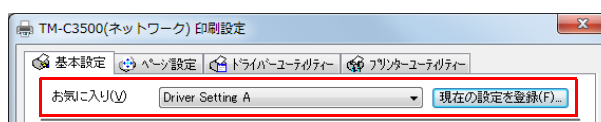
## 異なる設定のドライバーインストールパッケージを複数のクライアントコンピューターに配布する場合

以下の手順で、ドライバーインストールパッケージを作成します。

### 1 ドライバーインストールパッケージにするプリンタードライバーを、事前にインストールし、設定します。



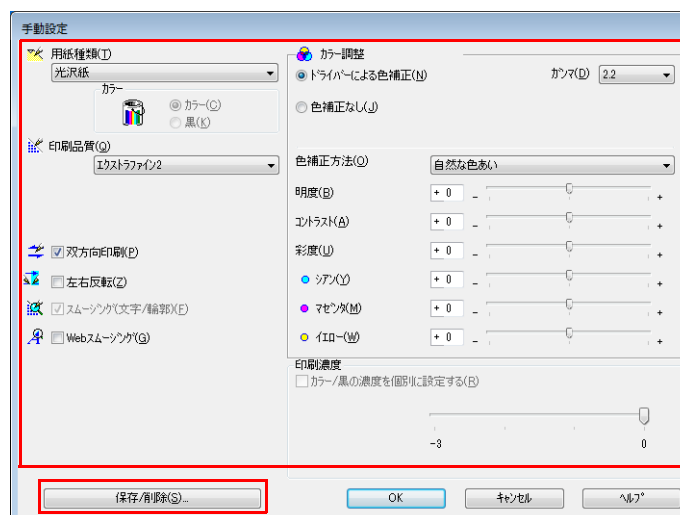
- TM-C3400/C3500  
プリンタードライバーの設定は、[ お気に入り ] に登録してください。コピーしたいドライバーの設定を、お気に入りの設定リストの一番上に移動してください。



- GP-C830/GP-C831/GP-C832  
\* プリンタードライバーの設定は、[ 基本設定 ] タブのモード設定 - [ 詳細設定 ] をチェックすると、ドロップダウンリストが表示されます。そこから選択してください。



- \* 設定を登録する場合は、[ 設定変更 ] をクリックすると、「手動設定」画面が表示されます。設定してから [ 保存 / 削除 ] をクリックし、設定名を付けて保存します。



### 2 ドライバー設定変更パッケージを作成します。

EpsonNet Setup Manager 組み込み用の EXE ファイルも同時に作成します。  
詳細は、[ドライバー設定変更パッケージの作成 \(70 ページ\)](#) を参照してください。



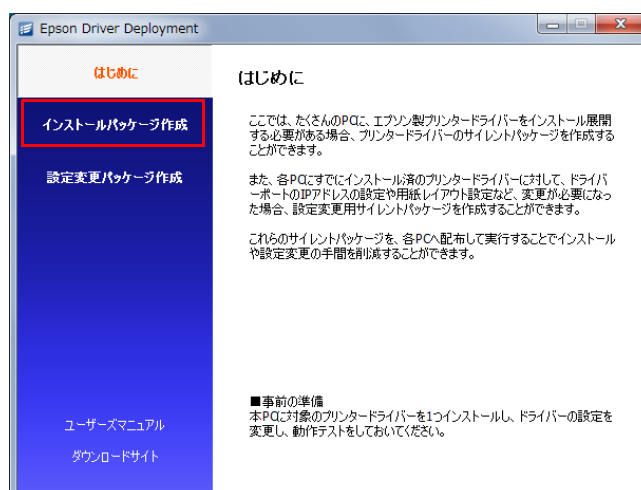
ドライバー設定変更パッケージを作成する環境と実行する環境が異なる場合、設定が変更されない場合があります。(OS、プリンタードライバーのバージョン)

### 3 [ スタート ]-[ すべてのプログラム ]-[Epson]-[Deployment Tool]-[Epson Driver Deployment] を選択します。

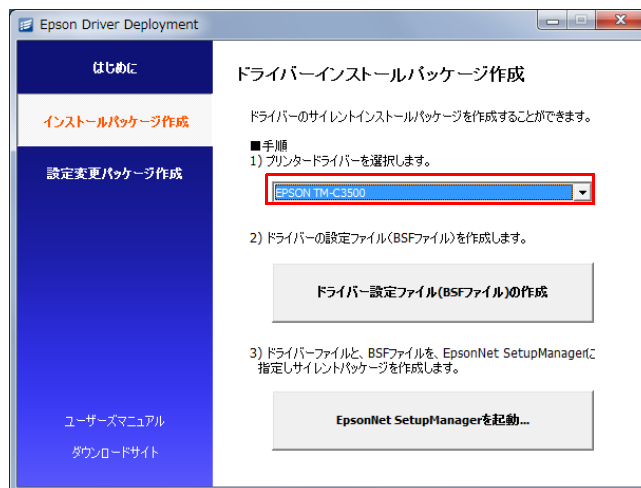


- 管理者権限で実行してください。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、「はい」をクリックしてください。

### 4 「Epson Driver Deployment Navi」画面が表示されます。 [ インストールパッケージ作成 ] を選択します。

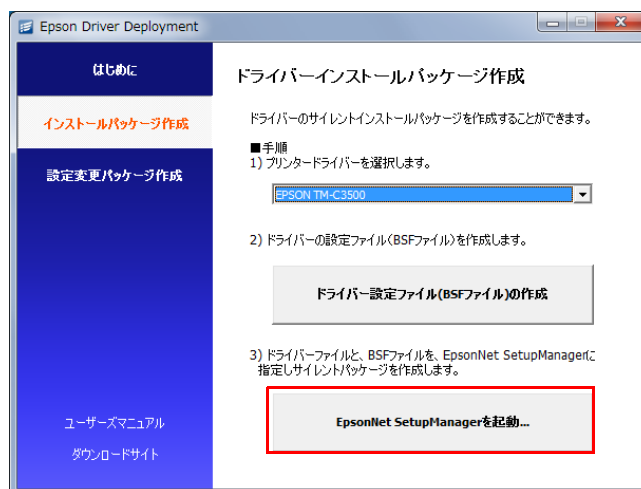


### 5 ドライバーインストールパッケージにするプリンタードライバーを選択します。

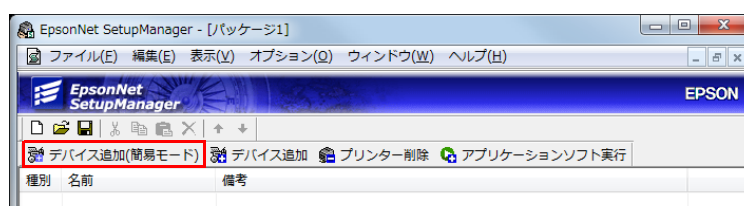




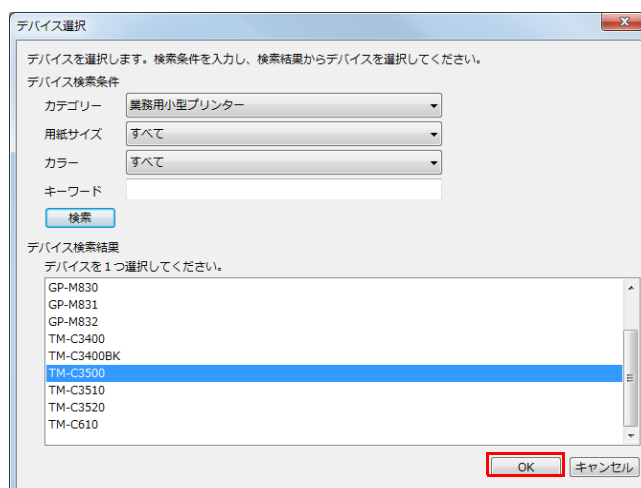
- 6 サイレントパッケージを作成します。[EpsonNet SetupManagerを起動]をクリックします。



- 7 EpsonNet SetupManager が起動します。  
[デバイス追加 (簡易モード)] をクリックします。



- 8 「デバイス選択」画面が表示されます。  
デバイスを選択し、[OK] をクリックします。



- 9 「デバイス追加」画面が表示されます。  
[名前]にプリンター名(プリンターキュー)を指定し、[次へ]をクリックします。

デバイス追加(簡易モード)

デバイス追加  
追加したいデバイスの名称(アクションアイテム名)を入力します。入力した値がプリンター名またはPC-FAX名に反映されます。

デバイス追加  
接続設定  
プリンター設定  
印刷設定  
PC-FAX設定  
スキャナー設定  
完了

モデル名 TM-C3500  
名前 TM-C3500

< 戻る 次へ > キャンセル

- 10 「接続」画面が表示されます。  
デバイスの接続方法を設定し、[次へ]をクリックします。

デバイス追加(簡易モード)

接続設定  
デバイスの接続方法を指定します。

デバイス追加  
接続設定  
プリンター設定  
印刷設定  
PC-FAX設定  
スキャナー設定  
完了

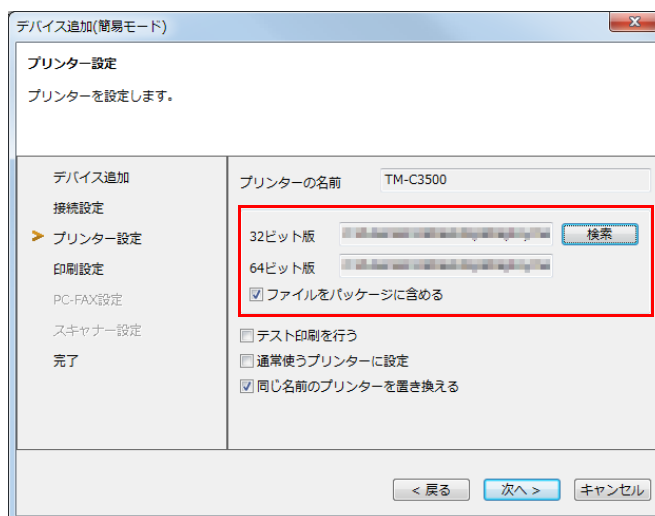
ネットワーク接続  
アドレス形式 IPアドレス  
アドレス  
 ローカル接続  
ポート USB

< 戻る 次へ > キャンセル

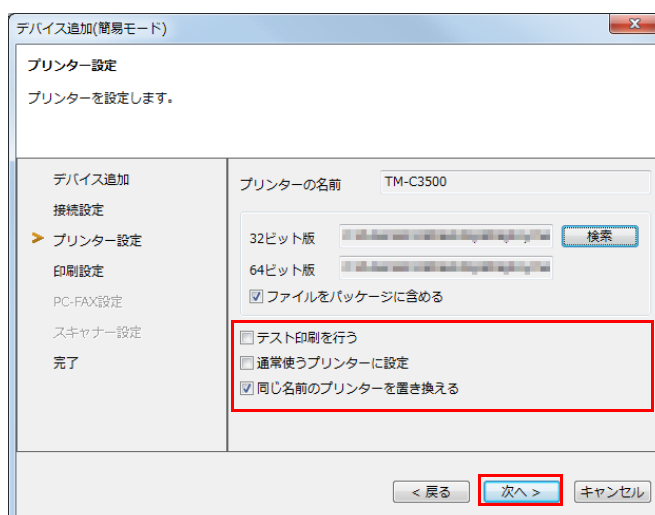


デバイスの接続方法を[ネットワーク接続]にした場合、プリンターのIPアドレスを指定してください。

- 11 「プリンター設定」画面が表示されます。  
[検索]をクリックし、プリンタードライバファイルを指定します。

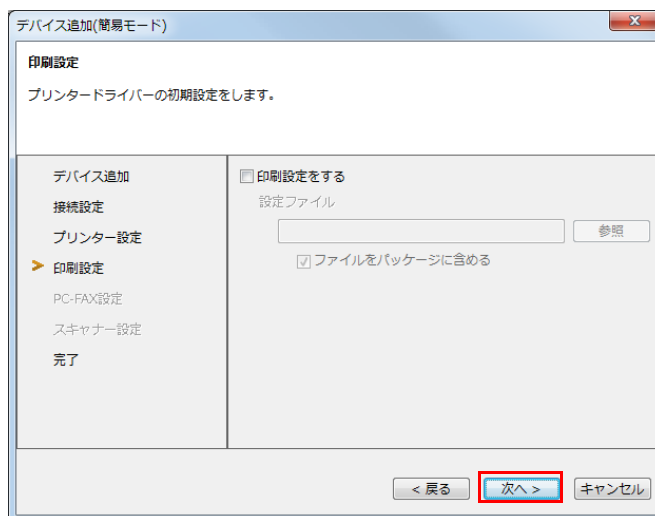


- 12 以下を設定し、[次へ]をクリックします。

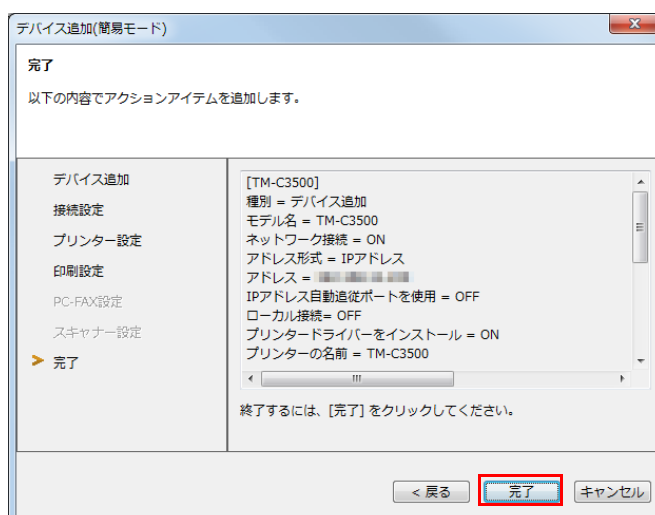


設定	説明
テスト印刷を行う	サイレントパッケージの実行時に、テスト印刷します。
通常使うプリンターに設定	インストールしたプリンターを、通常使うプリンターにします。
同じ名前のプリンターを置き換える	すでにインストールするプリンターと同じプリンター名が存在する場合、置き換えます。

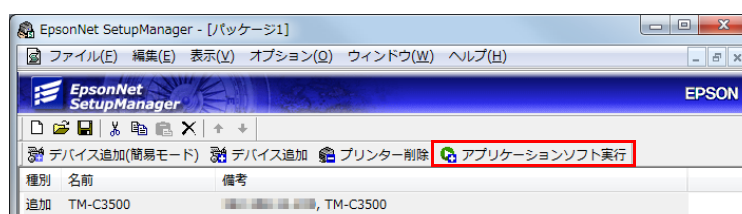
### 13 「印刷設定」画面が表示されます。[次へ]をクリックします。



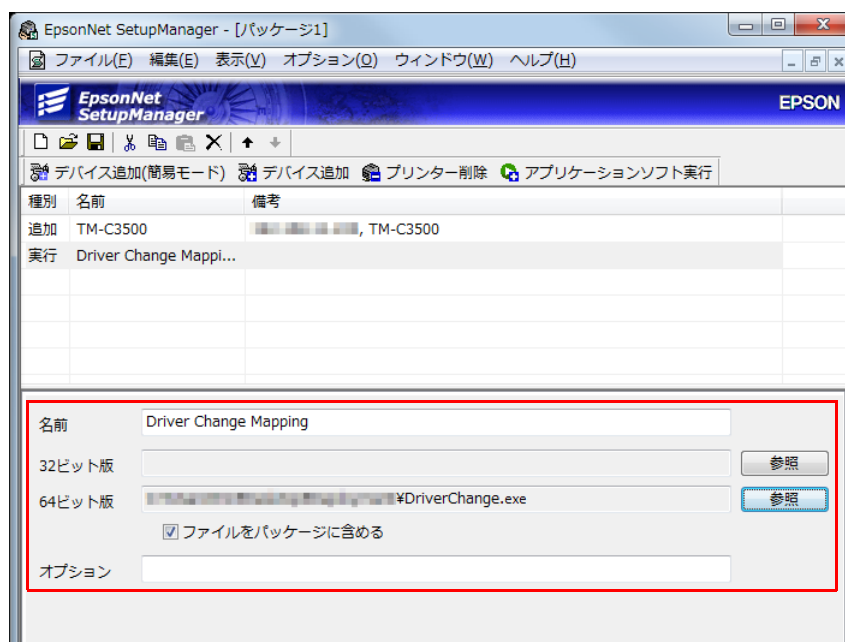
### 14 「完了」画面が表示されます。 設定した内容を確認し、[完了]をクリックします。



### 15 EpsonNet SetupManager の画面に戻ります。 [アプリケーションソフト実行]をクリックします。

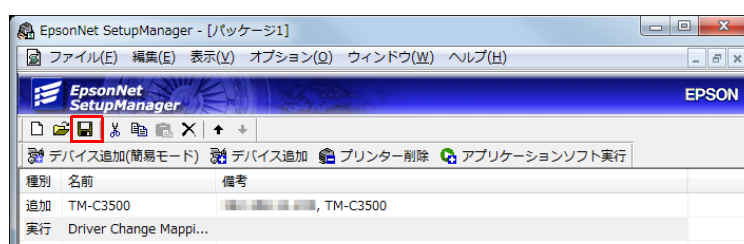


## 16 手順 1 で作成した、ドライバー設定変更パッケージを組み込みます。 以下を設定します。



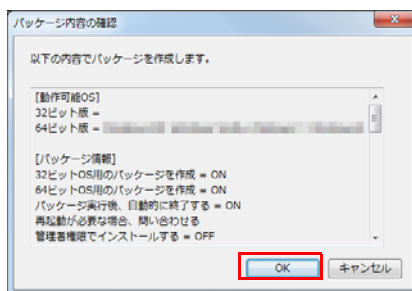
設定	説明
名前	パッケージファイル内に組み込む、アプリケーションソフトの実行内容を、名前で指定します。
32ビット版	手順 1 で作成した、ドライバー設定変更パッケージのファイル (exe ファイル) を指定します。
64ビット版	手順 1 で作成した、ドライバー設定変更パッケージのファイル (exe ファイル) を指定します。
オプション	アプリケーションソフト実行時にコマンドオプションを設定できる場合、必要に応じて設定します。

## 17 [上書き保存] をクリックします。



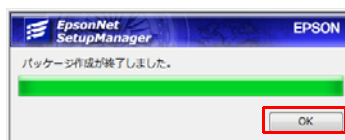
プリンタードライバーに同梱している Printer Setting も配布したい場合、[アプリケーションソフト実行] をクリックし、Printer Setting のパッケージを組み込んでください。

18 「パッケージの内容確認」画面が表示されます。[OK] をクリックします。



19 「名前を付けて保存」画面が表示されます。  
パッケージの保存先を指定し、[保存] をクリックします。

20 以下の画面が表示されます。[OK] をクリックします。



## Advanced Printer Driver Ver.4

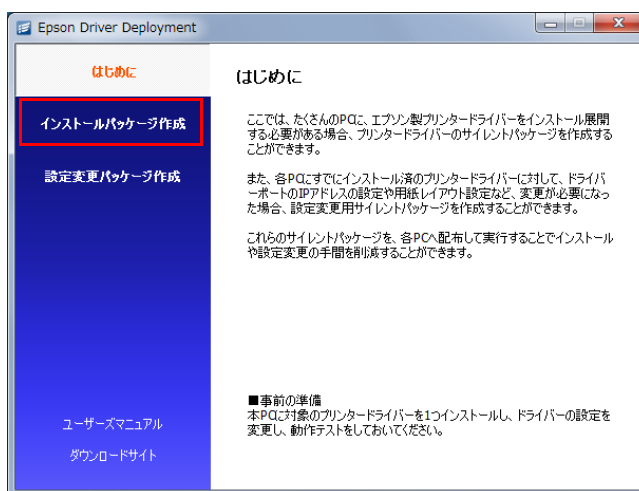
以下の手順で、ドライバーインストールパッケージを作成します。

- 1 ドライバーインストールパッケージにするプリンタードライバーを、事前にインストールし、設定します。
- 2 [ スタート ]-[ すべてのプログラム ]-[Epson]-[Deployment Tool]-[Epson Driver Deployment] を選択します。

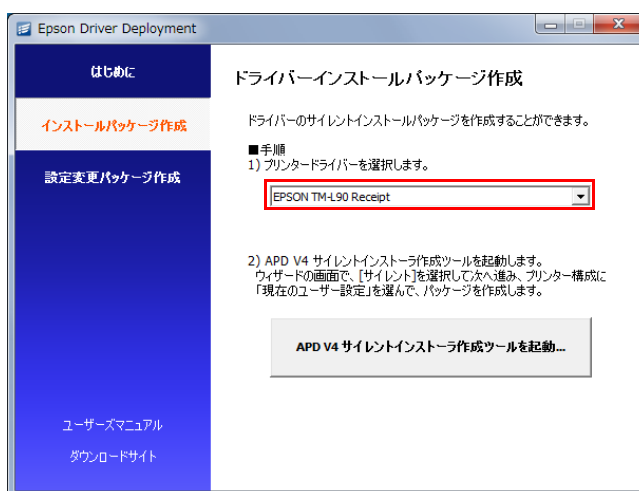


- 管理者権限で実行してください。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

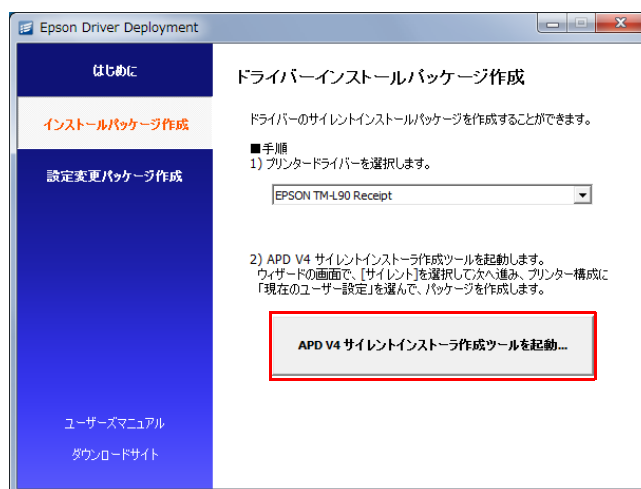
- 3 「Epson Driver Deployment Navi」画面が表示されます。  
[インストールパッケージ作成] を選択します。



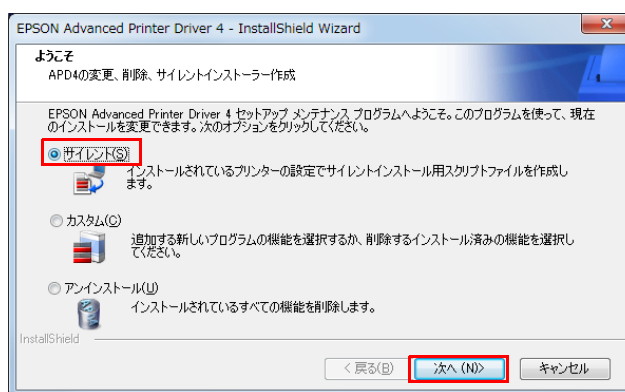
- 4 ドライバーインストールパッケージにするプリンタードライバーを選択します。



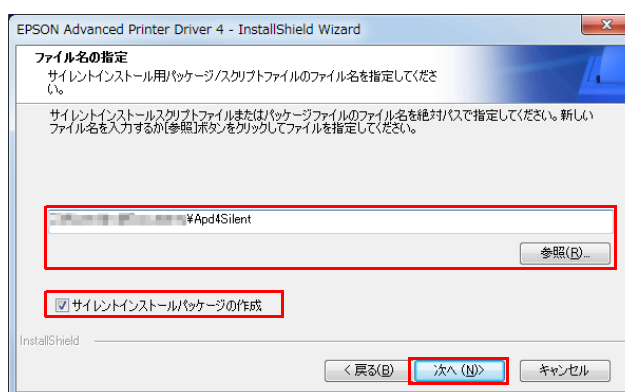
## 5 [APD V4 サイレントインストーラ作成ツールを起動] をクリックします。



## 6 [サイレント] を選択し、[次へ] をクリックします。



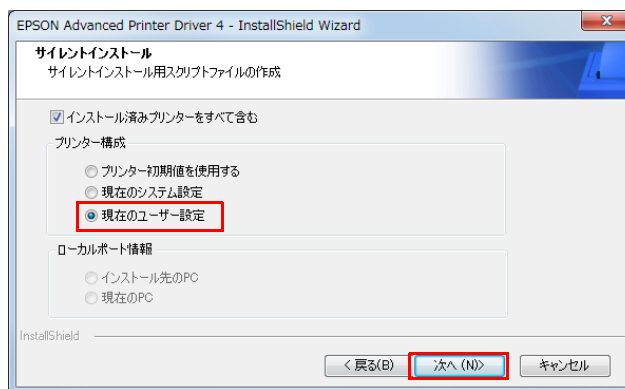
## 7 サイレントパッケージの保存先とファイル名をフルパスで指定し、[次へ] をクリックします。




[サイレントインストールパッケージの作成] がチェックされていることを確認してください。

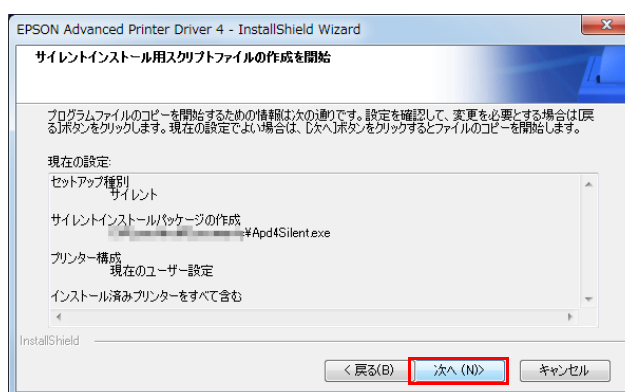


8 [現在のユーザー設定] を選択し、[次へ] をクリックします。



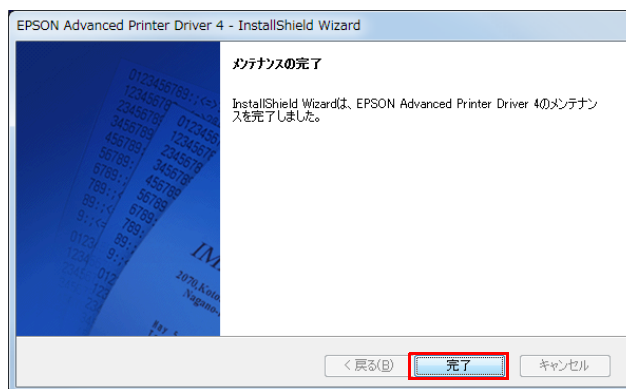
 [インストール済みプリンターをすべて含む] をチェックせずに [次へ] をクリックした場合、以下の画面から、プリンターキューを選択できます。

9 以下を確認し、[次へ] をクリックします。



確認する項目	設定値
セットアップ種別	サイレント
サイレントインストールパッケージの作成	パッケージの保存先とパッケージファイル名
プリンター構成	現在のユーザー設定
プリンター選択	インストール済みプリンターすべて含む

# 10 「メンテナンスの完了」画面が表示されます。[完了]をクリックします。



## Advanced Printer Driver Ver.5

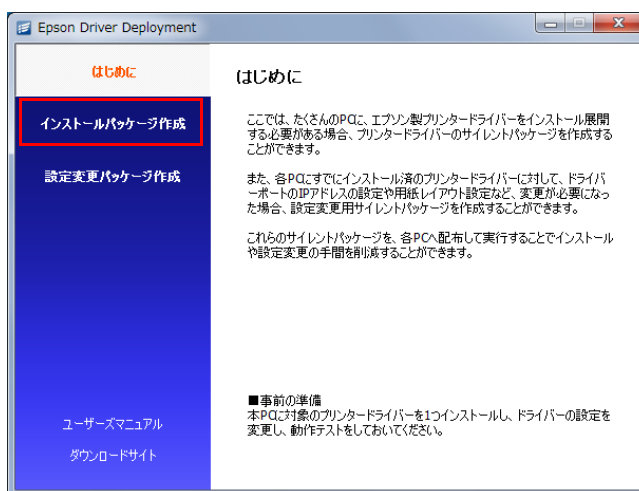
以下の手順で、ドライバーインストールパッケージを作成します。

- 1 ドライバーインストールパッケージにするプリンタードライバーを、事前にインストールし、設定します。
- 2 [ スタート ]-[ すべてのプログラム ]-[Epson]-[Deployment Tool]-[Epson Driver Deployment] を選択します。

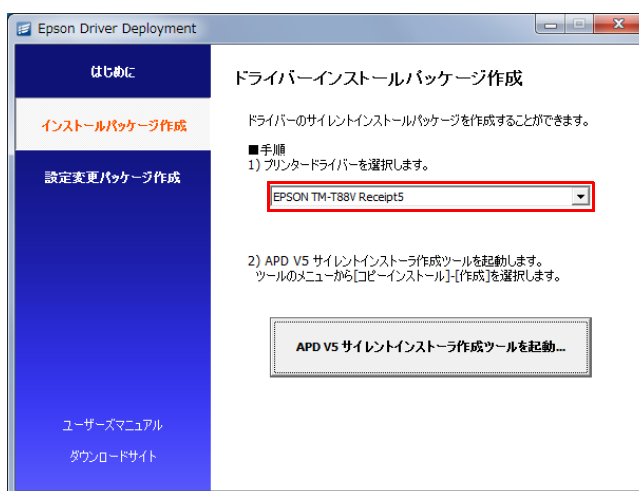


- 管理者権限で実行してください。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、「はい」をクリックしてください。

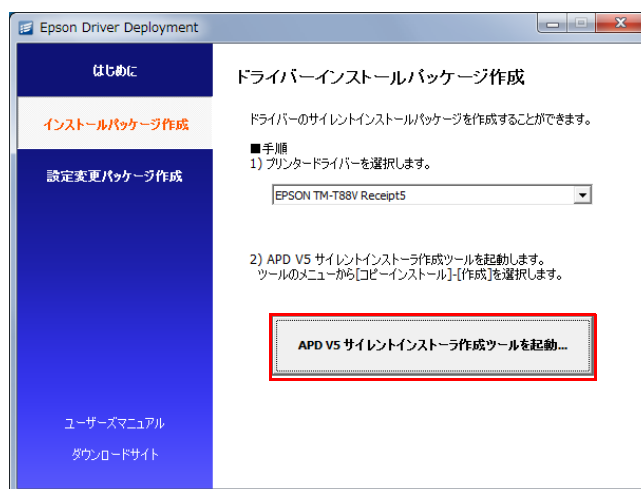
- 3 「Epson Driver Deployment Navi」画面が表示されます。  
[ インストールパッケージ作成 ] を選択します。



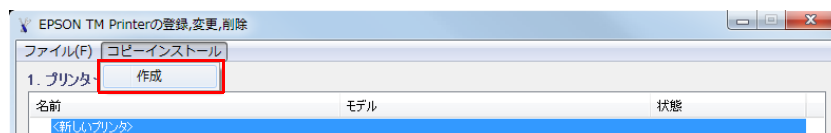
- 4 ドライバーインストールパッケージにするプリンタードライバーを選択します。



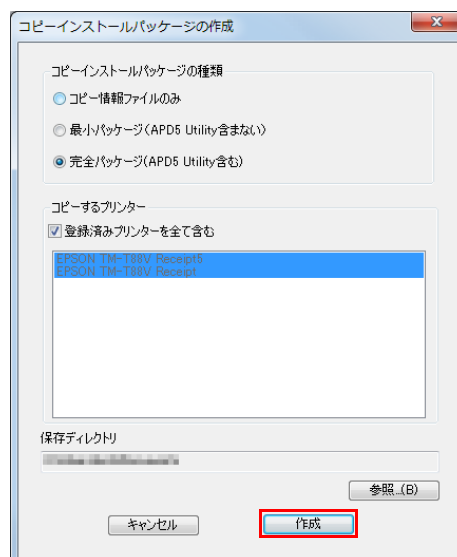
## 5 [APD V5 サイレントインストーラ作成ツールを起動] をクリックします。



## 6 「EPSON TM Printer の登録, 変更, 削除」画面が表示されます。メニューバーの [コピーインストール]-[作成] をクリックします。

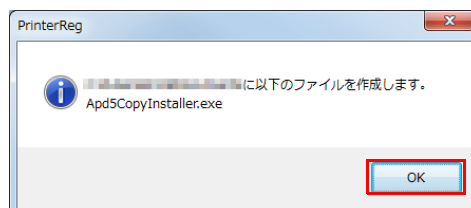


## 7 「コピーインストールパッケージの作成」画面が表示されます。以下を確認し、[作成] をクリックします。

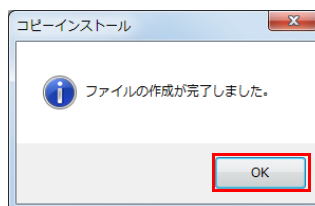


確認する項目	設定値
コピーインストールパッケージの種類	完全パッケージ (APD5 Utility 含む)
コピーするプリンター	登録済みプリンターをすべて含む
保存ディレクトリ	パッケージの保存先

- 8 以下の画面が表示されます。[OK] をクリックします。



- 9 完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。



## ドライバーインストールパッケージの実行


以下の手順で実行します。

- 1 クライアントコンピューターごとに、ドライバーインストールパッケージを配布します。
- 2 ドライバーインストールパッケージを実行します。  
実行が完了すると、プリンターキューが作成されます。
- 3 クライアントコンピューターとプリンターを接続します。

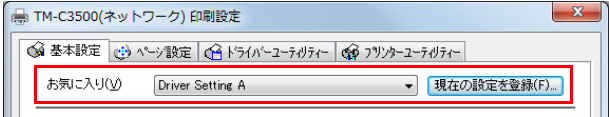
以上で、クライアントコンピューターのプリンタードライバーの初期設定が終了です。


## ドライバー設定変更パッケージの作成

クライアントコンピューターごとに、異なるプリンタードライバーの基本設定の内容をコピーします。また、まとめて1つのパッケージファイルにできます。



- ドライバー設定変更パッケージにするプリンタードライバーを事前にインストールし、基本設定をしてください。
- ドライバー設定変更パッケージを作成する環境と実行する環境が異なる場合、設定が変更されない場合があります。(OS, プリンタードライバーのバージョン)
- プリンタードライバーの設定は、[お気に入り]に登録してください。コピーしたいドライバーの設定を、お気に入りの設定リストの一番上に移動してください。






事前に設定変更するプリンターキュー、ドライバー設定ファイルの情報を、CSV形式のリストに作成して、本ツールで設定リストを作成する際にインポートできます。詳細は、[CSVファイルの活用 \(77 ページ\)](#) を参照してください。


### ドライバー設定変更パッケージの作成

以下の手順で作成します。

- 1 [ スタート ]-[ すべてのプログラム ]-[Epson]-[Deployment Tool]-[Epson Driver Deployment] を選択します。

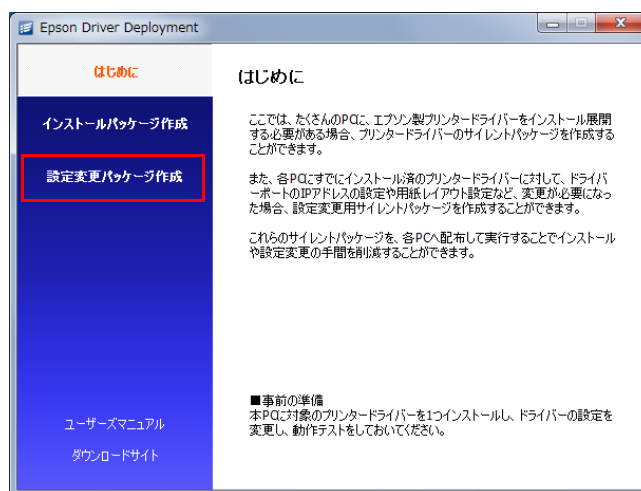


管理者権限で実行してください。

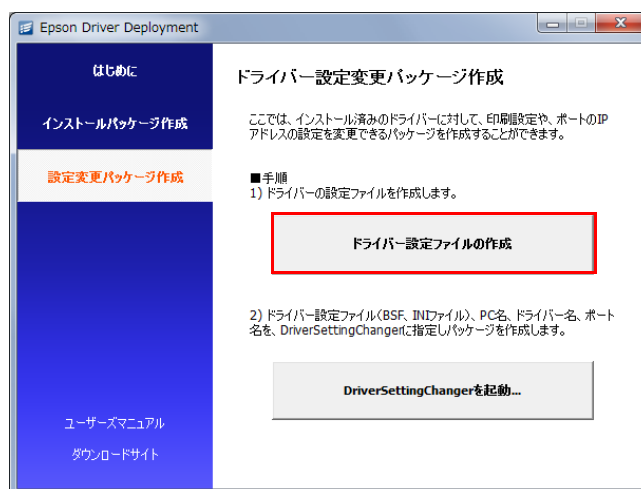


「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

- 2 「Epson Driver Deployment Navi」画面が表示されます。  
[ 設定変更パッケージ作成 ] をクリックします。

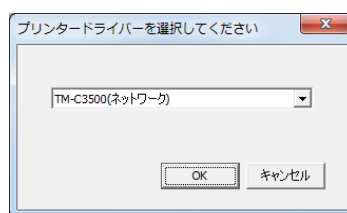


### 3 [ドライバー設定ファイルの作成] をクリックします。



プリンタードライバーのIPアドレスのみ設定変更する場合、手順 8(72 ページ)に進んでください。

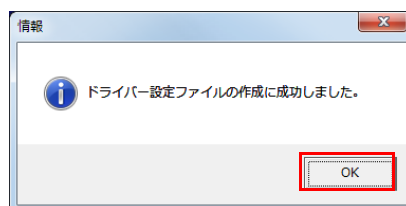
### 4 「プリンタードライバーを選択してください」画面が表示されます。設定変更するドライバーを選択し、[OK] をクリックします。



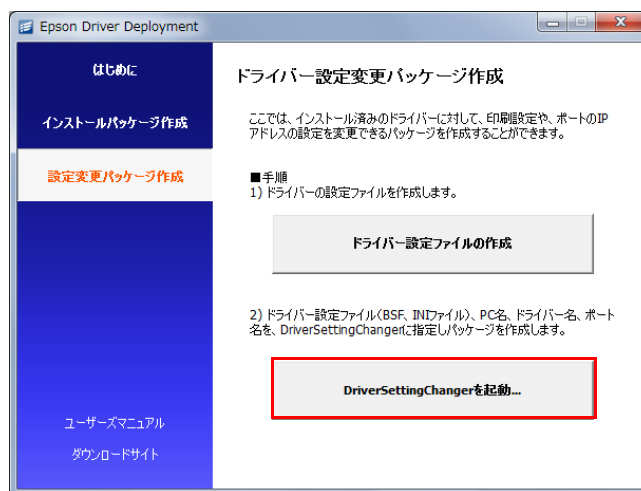
### 5 「名前を付けて保存」画面が表示されます。ドライバー設定ファイルの保存先を指定し、[保存] をクリックします。ドライバー設定ファイルが保存されます。

ドライバー設定ファイルの種類	プリンタードライバー
BSF ファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>TM-C3500</li> <li>TM-C3400</li> </ul>
ini ファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>Advanced Printer Driver Ver.4</li> <li>Advanced Printer Driver Ver.5</li> </ul> (Advanced Printer Driver が参照している外部ファイルの情報は、取得できません。)

### 6 ドライバーの設定ファイル作成終了画面が表示されます。[OK] をクリックします。



- 7 手順3～手順6を繰り返して、設定変更するプリンタードライバーすべてのドライバー設定ファイルを作成してください。
- 8 [DriverSettingChanger を起動 ] をクリックします。



- 9 Driver Setting Changer のメイン画面が表示されます。  
[ 設定追加 ] をクリックします。



事前に設定リストを CSV 形式のファイルで作成した場合、メニューバーの [ ファイル ]-[ CSV ファイル入力 ] からインポートしてください。



## 10 「設定追加 / 編集」画面が表示されます。 以下を設定し、[追加]をクリックします。

設定	説明
変更したいプリンタードライバーの条件	設定変更するプリンタードライバーを指定します。
コンピュータ名	特定のクライアントコンピューターにインストールされているプリンタードライバーを設定変更する場合、クライアントコンピューター名を指定します。 すべてのクライアントコンピューターを設定変更の対象にしたい場合、チェックしないでください。
ドライバー名	設定変更するプリンタードライバーを指定します。
プリンターキュー名	設定変更するプリンターキューを指定します。 コンピューターに複数のプリンターキューがインストールされ、異なる設定をしたい場合、[プリンターキュー名]を指定し、プリンターキューごとの設定変更できます。 [プリンターキュー名]を指定しない場合、指定した[ドライバー名]に関連するプリンターキューすべてが変更対象になります。
変更内容	プリンタードライバー、およびプリンターキューの変更内容を設定します。
ポートの設定を変更	ポートのIPアドレスを指定します。 ネットワークプリンターのIPアドレスが変更になった場合に使用します。 ドライバーの設定のみ変更する場合、チェックしないでください。
ドライバーの設定を変更	手順4～手順6で出力したドライバー設定ファイルを指定します。 ポートのIPアドレスのみ設定変更する場合、チェックしないでください。

- 11** Driver Setting Changer のメイン画面に戻ります。  
手順 9 ～手順 10 を繰り返して、設定変更するプリンターキューすべての情報と、プリンタードライバー設定を設定します。

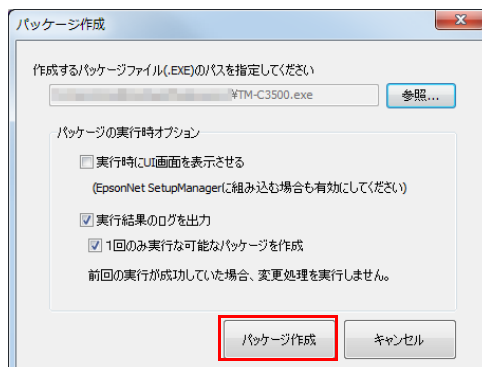


作成したドライバー設定リストは、CSV ファイル形式で保存できます。詳細は、[CSV ファイルの活用 \(77 ページ\)](#) を参照してください。

- 12** [パッケージ作成] をクリックします。



- 13** 「パッケージ作成」画面が表示されます。  
以下の設定し、[パッケージ作成] をクリックします。

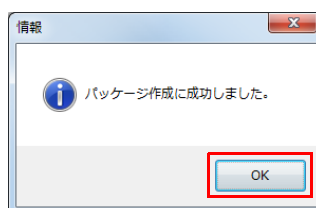


設定	説明
作成するパッケージ (.EXE) のパスを指定してください	ドライバーの設定変更パッケージの保存先を指定します。ファイル名まで指定してください。
パッケージの実行時オプション	
実行時に UI 画面を表示させる	パッケージの実行時に、画面を表示してドライバーの変更が実行されます。
実行結果のログを出力	パッケージの実行結果のログが出力されます。
1 回のみ実行可能なパッケージを作成	再度実行させないパッケージを作成します。 [実行結果のログを出力] にチェックした場合に設定できます。



EpsonNet Setup Manager に組み込む場合、[実行時に UI 画面を表示させる] を有効にしてください。

- 14** 以下の画面が表示されます。[OK] をクリックします。



## ドライバー設定変更パッケージの実行



TM-C3400、TM-C3500 について以下の設定はコピーできません。

- [ドライバーユーティリティ] - [モニタリング機能設定]
- [ドライバーユーティリティ] - [致命的なエラーの通知設定]
- [ドライバーユーティリティ] - [ドライバー動作設定] - [フォルダ選択]

以下の手順で実行します。

- 1 クライアントコンピューターにドライバー設定変更パッケージを配布します。
- 2 設定を復元したいユーザーでログインし、ドライバー設定変更パッケージを実行します。

以上で、クライアントコンピューターのプリンタードライバーの設定変更は終了です。

## パッケージ実行時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処方法
[エラー] 指定されたプリンター、またはポートが対象のコンピューターに存在しません。プリンター名、ポート名を確認してください。	対象のプリンタードライバーをインストールしてから、パッケージを実行してください。プリンター名を指定している場合、名前が正しいか確認してください。
[エラー] トークン取得エンジンの起動に失敗しました。エンジンは存在しない、または破損している可能性があります。	Deployment Tool を再インストールしてください。
[エラー] 登録されたロゴファイルの復元に失敗しました。ファイルの書き込み先へのアクセス権がない可能性があります。	設定をコピーする先のユーザーがアクセス可能な場所に画像ファイルを置いて、ドライバー設定ファイルを作成してください。

## CSV ファイルの活用

本ツールは、CSV ファイルを使った以下の活用方法があります。

- 事前に CSV 形式のファイルで、設定リストを作成する。  
クライアントコンピューターのプリンターキューごと、プリンターに割り当てた IP アドレスや、ドライバー設定ファイルの情報を、事前に CSV ファイルにリストにして、本ツールで設定リストを作成する際にインポートします。



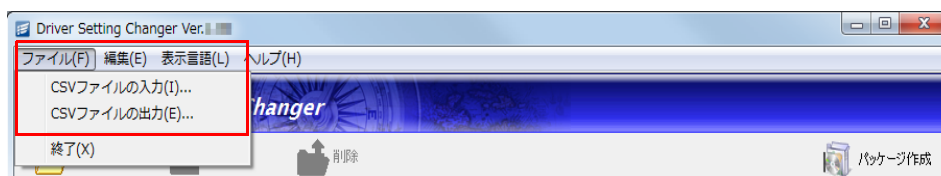
設定リストを CSV ファイルで作成する際、本ツールからエクスポートした CSV ファイルをテンプレートにして作成してください。



CSV ファイルの見方の詳細は、[CSV ファイルの見方 \(78 ページ\)](#) を参照してください。

- 本ツールで作成した設定リストを CSV ファイルで保存する。  
プリンターキューの設定をまとめて管理でき、必要な場合に復元できます。

## インポートとエクスポート



- インポート  
メニューバーの [ファイル]-[CSV ファイル入力]



インポート時に発生するエラーの詳細は、[インポート時のエラーメッセージ \(79 ページ\)](#) を参照してください。

- エクスポート  
メニューバーの [ファイル]-[CSV ファイル出力]

## CSV ファイルの見方

1 レコードの項目数	
5 項目 (Microsoft Excel の場合 :A 列～ E 列)	

設定項目	要否	CSV の項目 (Microsoft Excel)	項目のフォーマット
クライアント PC 名	必須	1 項目 (A 列)	文字列で入力 (クライアント PC を指定しない場合、アスタリスク (*) を入力してください。)
プリンタードライバー名	必須	2 項目 (B 列)	文字列で入力
プリンターキュー	任意	3 項目 (C 列)	文字列で入力
IP アドレス	任意	4 項目 (D 列)	IPv4 形式で入力
ドライバー設定ファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク接続で有線 LAN/ プリンター設定 : 任意</li> <li>ローカル接続でプリンター設定 : 必須</li> <li>ローカル接続で Wi-Fi/ プリンター設定 : 任意</li> </ul>	5 項目 (E 列)	ファイルのフルパスを入力

## インポート時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処方法
n行目のドライバー設定ファイル(ファイル名)を開けませんでした。ファイル名とファイルパスを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイルの有無を確認してください。</li> <li>• ファイルのパスが正しいか確認してください。</li> </ul>
n行目で指定されたドライバー設定ファイルは、BSFファイルまたは、iniファイルではありません。	ファイルの拡張子を確認してください。拡張子は、".bsf"、または ".ini" です。
n行目で指定されたドライバー設定ファイルは、指定されたドライバーには使用できません。この設定はリストに登録できません。	ドライバー設定ファイルと機種が対応しているか確認してください。
n行目で原因不明の読み込みエラーが発生しました。	再実行してください。
n行目の項目は不正です。リストに追加できません。	CSVファイルが、正しい形式で保存されていません。不正な項目がないか確認し、修正してください。
n行目で指定されたドライバー設定ファイルは壊れています。	BSFファイル、またはINIファイルとして、正しいファイルを指定してください。
n行目のIPアドレスが不正です。	IPアドレスを "xxx.xxx.xxx.xxx"(xは数字)の形式で指定してください。 IPアドレスを指定しない場合、"Not Change"を指定します。
n行目のコンピューター名、またはドライバー名は不正です。それぞれの名前が正しく指定されていることを確認してください。	コンピューター名、またはドライバー名を指定してください。

# Acknowledgements

## About the Info-Zip License

This is version 2009-Jan-02 of the Info-ZIP license. The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2009 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals: Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

- Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
- Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. Additional documentation is not needed for executables where a command line license option provides these and a note regarding this option is in the executable's startup banner. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
- Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
- Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.



---

## About the OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

This product includes cryptographic software written by Eric Young ([eay@cryptsoft.com](mailto:eay@cryptsoft.com))

---

## About the picojson License

This utility includes picojson.

-----  
Copyright 2009-2010 Cybozu Labs, Inc.

Copyright 2011-2014 Kazuho Oku

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.